



# 「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について

## 【中間報告】

---

～計画策定に向けた方向性～

令和8年2月

高砂市新たな学校づくり推進審議会



# 目 次

はじめに	1
1 学校を取り巻く現状と課題	
(1) 児童生徒数の推移と推計	2
(2) 学級数の推計	2
(3) 老朽化状況	3
(4) 40年間の維持・更新費	3
(5) 通学区域・学校配置	3
(6) 学校施設・運営面での教育課題	4
2 意見聴取	8
3 これからの学校像	9
4 4つの目指すべき方向性	
(1) 多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保	11
(2) 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備	13
(3) 安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備	15
(4) 学校と地域の連携の充実	17
参考資料	
・高砂市新たな学校づくり推進審議会	19
・高砂市新たな学校づくり推進審議会委員名簿	20
・高砂市教育委員会からの諮問書	21
・高砂市新たな学校づくり推進計画策定に向けたアンケート調査結果【概要版】	22
・みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会～	34
・みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～これからの学校のあり方を考えよう！～	35

# はじめに

高砂市新たな学校づくり推進審議会（以下、「審議会」という。）は、高砂市が策定を進める「新たな学校づくり推進計画」に関する諮問に対応するため、附属機関として令和6（2024）年9月に設置されました。高砂市教育委員会（以下、「教育委員会」という。）からの諮問事項は、（1）適正規模適正配置に関する基本方針、（2）学校再編の考え方、（3）施設の整備基準、（4）その他関連事項と多岐にわたっており、いずれも将来を担う児童生徒にとって望ましい教育環境をいかに確保し、持続的に提供していくかという、高砂市の教育の根幹に関わる重要なテーマであります。

教育委員会は、諮問書に明記されているとおり、児童生徒に望ましい教育環境を将来にわたり確保することを目的として計画策定を進めようとしています。審議会としても、その目的に深く共感するとともに、どのような教育環境が高砂市の子どもたちにとって真に望ましいのか、また、その環境を持続可能な形で提供し続けるためにはどのような方策が必要となるのかについて、丁寧かつ多角的に議論を積み重ねてまいりました。

今年度はまず、小中学校を取り巻く現状や課題を多面的に把握した上で、主要な論点をテーマとして設定し、協議を行いました。さらに、保護者、地域住民、教職員をはじめとする多様な対象から意見を聴取し、その内容を議論に反映しながら、高砂市が目指すべき方向性について検討を深めてきたところです。

今回取りまとめた方向性は、今後の計画策定に向けた極めて重要な内容であるため、教育委員会に報告するものです。審議会としては、高砂市立小学校・中学校の望ましい教育環境の実現に向けた答申の検討を進めてまいります。

なお、審議会での審議を令和6（2024）年から始めたため、中間報告における基準年は令和6（2024）年としています。

令和8（2026）年2月2日  
高砂市新たな学校づくり推進審議会

## 第4期高砂市教育振興基本計画（抜粋）

### ～基本理念～

思いやりとたくましさをもち、ふるさと高砂の今と未来を創る人を育む

### ～目指す人間像～

- ◎自然と伝統・文化を愛し、互いに支え合い、よりよい社会を創ろうとする人
- ◎知・徳・体の調和がとれ、自立して、生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人

### ～基本理念を実現するための高砂市の目指すべき姿～

予測困難な将来を切り拓きつつ生き抜く力を育む教育

現状から課題を分析し、他者と連携・協働しながら粘り強く取組み、新たな価値を想像していく学びを深めます。

多様な人々がともに生きる社会の実現に向けた教育

多様性を受け止め、全ての人の幸せを考え、一人ひとりを大切につないでいくことができる教育と教育環境を創造します。

だれもが学び続けることのよさを実感できる教育

学校・家庭・地域が連携・協働して、大人はこどもから学び、こどもは大人から学び続けることができる生涯の学びの機会を広げます。

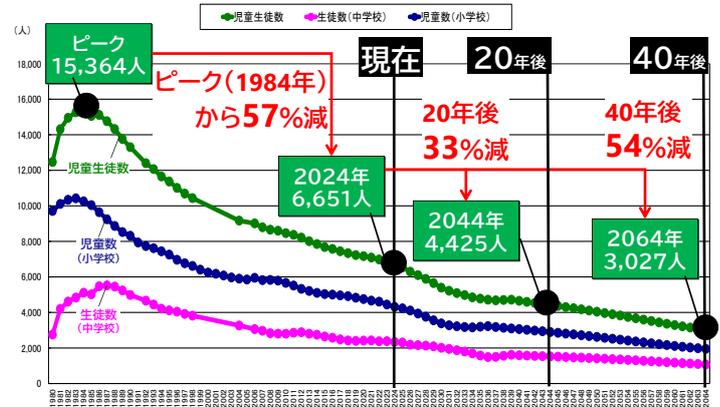
# 1 学校を取り巻く現状と課題

## (1) 児童生徒数の推移と推計

児童生徒数は、令和6(2024)年現在6,651人で、ピーク時の昭和59(1984)年の15,364人から過去40年間で57%減少しています。

今後は、右肩下がりで減少傾向が続く予測となっており、40年後(2064年)には3,027人と、現在からさらに半減する予測となっています。

〈児童生徒数の推移と推計〉



## (2) 学級数の推計

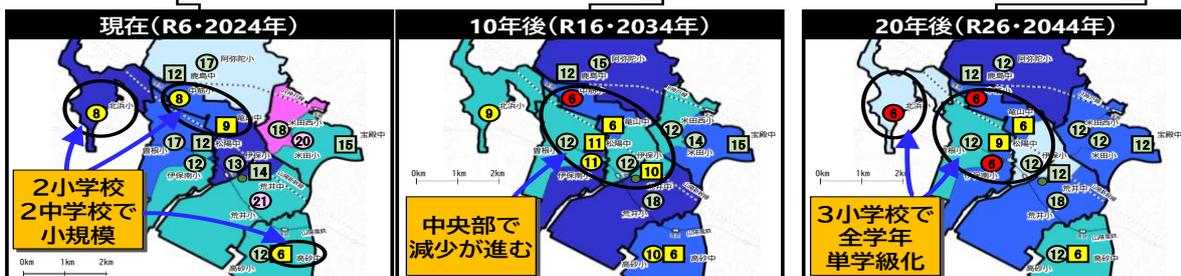
令和6(2024)年は、荒井小学校と米田小学校の2校が19学級以上である一方で、中筋小学校・北浜小学校・高砂中学校・竜山中学校の4校で小規模校化<sup>1</sup>が始まっています。

10年後(2034年)は、小学校は19学級以上の学校がなくなり、全学年で単学級の6学級校が1校出現し、中学校は4校で11学級以下となるなど、小学校・中学校ともに、特に中央部で小規模校化が進む予測となっています。

20年後(2044年)は、その状況がさらに拡大し、小学校は全学年で単学級の6学級校が3校に増えるほか、その他の学校も適正規模ではあるものの、ぎりぎりクラス替えができる12学級校が増加するなど、市内全域で小規模校化が拡大する予測となっています。

〈学級数の推計〉

普通学級数	現在										10年後										20年後			
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044			
高砂中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	5	6	6	6	6	6	6			
高砂小学校	12	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
荒井中学校	14	14	14	12	13	13	12	12	10	10	10	10	10	9	9	9	9	10	11	11	12			
荒井小学校	21	22	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18			
竜山中学校	9	9	9	9	8	7	7	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6			
伊保小学校	13	14	13	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
中筋小学校	8	11	10	8	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
松陽中学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	10	9	9	9	9	9			
伊保南小学校	12	12	11	10	10	9	9	9	10	11	11	11	10	9	8	8	7	6	6	6	6			
曾根小学校	17	18	18	17	16	15	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
宝殿中学校	15	17	16	17	17	17	17	17	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12			
米田小学校	20	21	21	20	19	18	16	16	16	15	14	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12			
米田西小学校	18	18	18	18	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
鹿島中学校	12	12	12	11	13	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12			
阿弥陀小学校	17	18	18	18	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12			
北浜小学校	8	9	10	9	9	8	9	9	8	9	9	10	10	10	9	8	7	6	6	6	6			



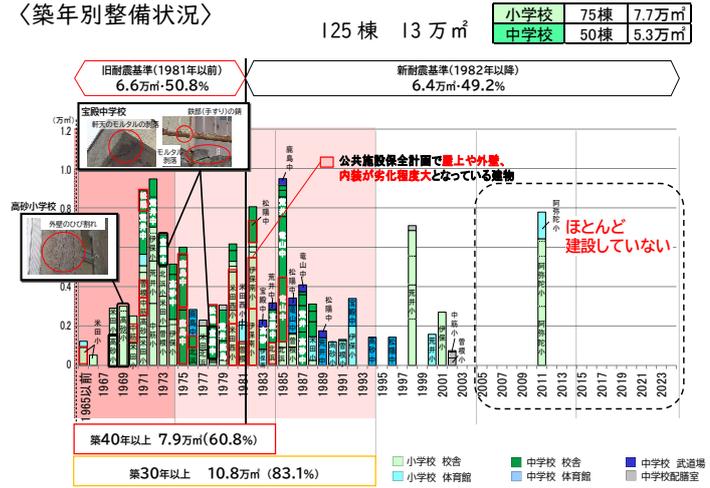
<sup>1</sup> 学校教育法施行規則第41条及び第79条において、小中学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とするとして規定されていることを踏まえ、本書においては、便宜的に、19学級以上を大規模校、11学級以下を小規模校とする

### (3) 老朽化状況

学校施設の60.8%が建築後40年を経過しており、多くの学校では校舎の屋上・外壁・内部などに劣化が進行しています。そのため、安全な状態を維持するための整備が順次、進められています。

過去30年間では、平成10(1998)年の荒井小学校、平成23(2011)年の阿弥陀小学校の2校が学校単位での改築が行われています。

〈築年別整備状況〉

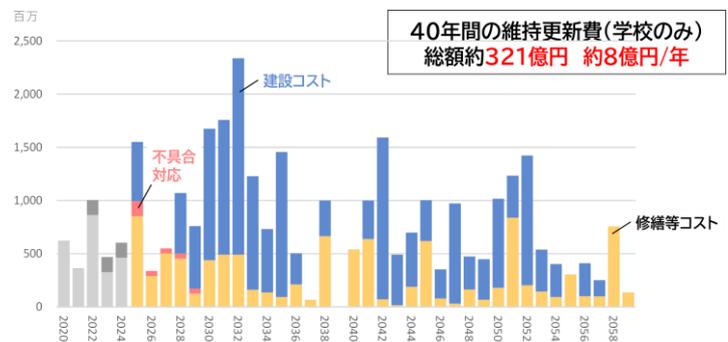


### (4) 40年間の維持・更新費

令和4(2022)年3月に改訂された「高砂市学校施設等個別施設計画」では、今後40年間の学校施設の維持・更新費は321億円(約8億円/年)の試算となっています。

近年の物価高騰などの影響により、すべての施設を建替えや長寿命化改修等で対応すると、更なる事業費がかかることが予測されます。

〈40年間の維持・更新費〉



出典：高砂市学校施設等個別施設計画(令和4年3月改訂)を基に、学校分を抽出して作成

### (5) 通学区域・学校配置

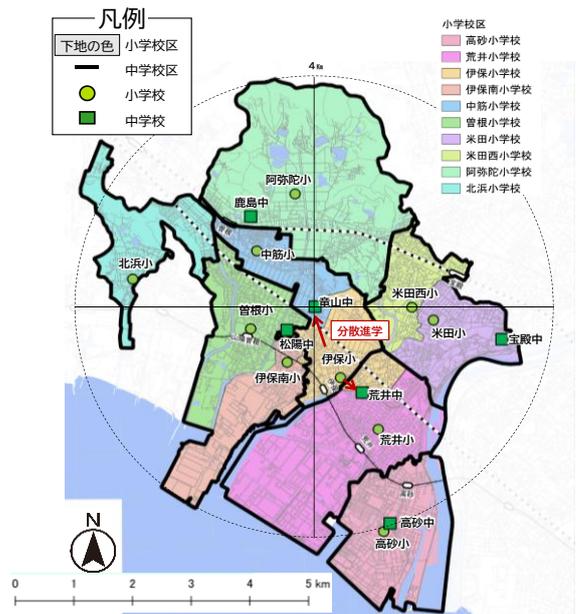
小学校・中学校の校区はおおむね一致していますが、伊保小学校は荒井中学校と竜山中学校への分散進学となっています。

小学校・中学校の校区はおおむね昭和の合併時の旧町村により設定されていますが、今後は、旧町村界を超えた校区の検討が必要になってきます。

中学校は、過去に周辺市との組合立であった学校や、組合立を廃止して新設した学校があるため、学校配置や学区設定に偏りのある学校があります。

小学校の最も長い通学距離は、阿弥陀小学校及び北浜小学校の2.4kmです。

〈学校位置図〉



## (6) 学校施設・運営面での教育課題

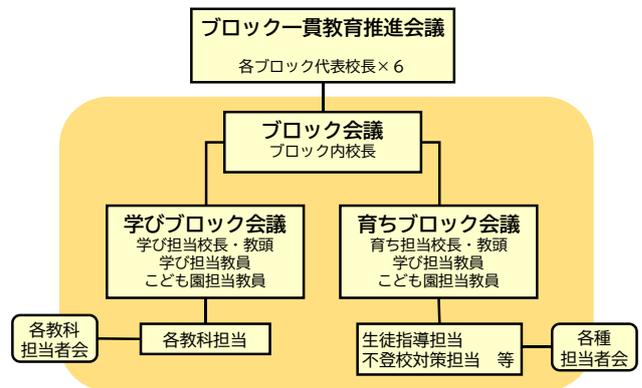
### ▶ 連続性のある一貫教育

第4期高砂市教育振興基本計画の主要な取組みにおいて、「小・中一貫教育の発展」、「幼児教育の学びの充実と連携」を掲げ、一貫教育が進められています。

それらの実現に向け、ブロック一貫教育推進会議を実施し、各中学校区を1ブロックとして、こども園・小中学校の教員で特色ある取組みが検討されています。



〈ブロック一貫教育組織図〉



ブロック	中学校	小学校		こども園	
高砂	高砂中	高砂小	伊保小	高砂こども園	
荒井	荒井中	荒井小		荒井こども園	
竜山	竜山中	中筋小		中筋こども園	
松陽	松陽中	伊保南小	曾根小	伊保こども園	曾根こども園
宝殿	宝殿中	米田小	米田西小	米田こども園	
鹿島	鹿島中	阿弥陀小	北浜小	阿弥陀こども園	北浜こども園

### ▶ 個別最適・協働的な学び、探究的な学びへの対応

高砂市では、個別最適・協働的な学び、探究的な学びとして以下の取組みを実施しています。

<p><b>【個別最適な学び】</b> 児童生徒一人ひとりの理解度に応じた「個別最適な学び」を推進しています。 ドリルソフトを活用し、AIが自動で問題の難易度を調整することで、苦手克服や学力向上を支援。さらに自由進度学習を導入し、自分のペースで学習を進められる環境を整備しています。 これにより、得意を伸ばし、つまづきを自ら乗り越える力を育成しています。 教師は学習履歴を活用し、個別に寄り添った指導を行っています。</p>		<p><b>【探究的な学び】</b> 児童生徒が主体的に課題を見つけ、調査・協働・発表する探究学習を推進しています。 小中学校では地域課題や国際理解をテーマに発表会を開催し、高校では市や大学と連携した実践的な活動を実施。 ICTやAI教材も活用し、個別最適な学びと協働的・探究的な学びの融合を図っています。 市教育委員会では、探究を軸とした学びの充実に向け、高砂STEAM教育の推進と産官学連携体制の構築を進めています。</p>	
<p><b>【協働的な学び】</b> 児童生徒が互いに協力しながら学ぶ「協働学習」を推進しています。 小・中学校では地域課題や国際テーマをグループで調査・発表する学習を実施し、ICT教材も活用しています。 特に「知識構成型ジグソー法」による学びでは、個別の学習と協働的対話を組み合わせ、深い理解を促進しています。</p>		<p><b>【GIGAスクール】</b> 子どもの学びのツールとしてICTを積極的に活用しています。タブレットやドリルソフトを使い、個別最適な学びや協働的な学びを支援し、主体的な学習姿勢を育てています。 また、教師の校務もICTで効率化を図り、成績処理やアンケート集計、教材共有などをDX化することで事務負担を軽減。 その結果、子どもと向き合う時間の確保や、より質の高い授業づくりにつながっています。</p>	

また、高砂 STEAM 教育<sup>2</sup>として、地元企業や行政と連携し、実社会、本物に触れ、探究する活動をする機会を増やしています。身近な地域から課題を発見し、課題に対する情報収集や分析を行い、チームで探究し、課題を解決させ、子どもたちの成功体験につなげています。

<sup>2</sup> 産学官民（学校・企業・地域等）が連携し、実社会のホンモノに触れる機会を通して学びを深める探究的な学びのプログラム

## ▶ 少人数教育

児童生徒数の減少による小規模校化は必ずしも 1 教室あたりの人数が減るものではなく、また、教員の負担軽減につながるものではありません。

少人数教育は、少人数指導と少人数学級の手法がありますが、教職員不足が深刻化している中で、少人数学級を実施するためには市費による教職員の確保が必要となります。

また、近年の特別支援学級の増加等もあり、少人数教育を実施するための少人数教室や多目的室が不足する可能性があります。

### ◇ 少人数指導

- ・一つまたは複数の学級を分割して少人数のグループで指導を行うことで、児童生徒一人ひとりの学習状況に合わせたきめ細やかな指導を可能にする教育手法です。
- ・複数の教室に分かれて、児童生徒の理解度に応じた授業を行う「習熟度別指導」や、一つの教室の中に複数の教員が入り、授業を行う「ティーム・ティーチング」等があります。

### ◇ 少人数学級

- ・1 学級の児童生徒数を従来の基準よりも少ない人数で編成することを指します。
- ・令和 7 年現在、兵庫県の学級編制基準は小学校 35 人、中学校 40 人（令和 8 年度から段階的に 35 人に改編予定）ですが、少人数学級の場合にはそれよりも少ない学級編成を組むことができます。
- ・増加した学級に配置する教員については、県ではなく高砂市が給与負担を行う必要があります。

## ▶ 給食

小学校給食は、すべて自校式給食<sup>3</sup>であり、中学校給食は、給食センター調理<sup>4</sup>で、高砂中学校は高砂小学校で調理した給食を運ぶ親子形式となっています。

小学校の給食室は 6 校で建築後 40 年以上が経過し、うち 3 校は建築後 50 年以上が経過しています。ドライシステム方式<sup>5</sup>は小学校 4 校と給食センター、それ以外はウェットシステム方式（ドライ運用<sup>6</sup>）となっています。

〈小学校給食室の状況〉

学校名	使用ガス種	設置年度	築年	耐震基準	構造	面積(m <sup>2</sup> )	方式	アレルギー対応	配食数(R5)
							ドライ・ウェット		
高砂小学校	都市	1972	53	旧耐震	RC	276	ウェット	対応済	94,901
荒井小学校	都市	1998	27	新耐震	RC	251	ドライ	対応済	146,816
伊保小学校	LP	1974	51	旧耐震	RC	216	ウェット	対応済	84,277
伊保南小学校	都市	1982	43	旧耐震	RC	189	ウェット	対応済	55,234
中筋小学校	LP	2002	23	新耐震	RC	365	ドライ	対応済	48,008
曾根小学校	LP	2002	23	新耐震	RC	444	ドライ	対応済	113,566
米田小学校	LP	1968	57	旧耐震	RC	191	ウェット	対応済	124,972
米田西小学校	都市	1980	45	旧耐震	RC	186	ウェット	対応済	100,392
阿弥陀小学校	LP	2011	14	新耐震	RC	286	ドライ	対応済	107,587
北浜小学校	LP	1979	46	旧耐震	RC	215	ウェット	対応済	44,238

〈給食センターの状況〉

学校名	使用ガス種	設置年度	築年	耐震基準	構造	面積(m <sup>2</sup> )	方式	調理者休憩室			アレルギー対応	配食数(R5)
							ドライ・ウェット	有無	トイレ	トイレ内手洗い		
高砂市学校給食センター	都市	2019	6	新耐震	S	2,720	ドライ	有	有	有	対応済	361,075

<sup>3</sup> 各学校の敷地内に設けられた給食室で、その学校の児童分の給食を調理し、提供する方式

<sup>4</sup> 給食センターで複数の学校分の給食を一括して調理し、各学校へ配送して提供する方式

<sup>5</sup> 床を乾いた状態で使用する方式で、調理場内の湿度を低く保ち、細菌増殖を抑え、食中毒の発生要因を少なくすること

<sup>6</sup> 調理器具の改善や作業方法を工夫し、ドライシステム方式と同様に床を乾いた状態に保つ運用のこと

## ▶ プール

〈小学校・中学校のプール状況〉

高砂市の学校プールはいずれも屋外プールで、水温が22℃以下の場合や雨天時、水温と気温が合わせて65℃を超える場合には熱中症の危険性があり利用できないことから、天候に指導計画が左右されています。

既にプール躯体が建築後60年以上経過し、10年以内に建替えが必要な学校が複数校あります。

また、学校プールの維持管理については、保守費用や光熱水費、薬品代等の経常経費が必要となっています。

さらに、プールの給水や水質など、プールの管理業務が教職員への負担に繋がっています。

プール名	プール基礎情報					設備(ろ過装置)	
	建設年度	経過年数(R6)	直近改修年度	地上/屋上	構造	改修年度	ろ過方式
高砂小学校	1968	56	2001	地上	FRP	2001	回転ドラム
荒井小学校	2000	24		地上	ステンレス		回転ドラム
伊保小学校	1963	61	2013	地上	FRP	2013	珪藻土
伊保南小学校	1982	42	2013	地上	FRP	2013	珪藻土
中筋小学校	1971	53	2013	地上	FRP	2013	砂
曾根小学校	1962	62	1999	地上	FRP	1999	砂
米田小学校	1963	61	2000	地上	FRP	2000	回転ドラム
米田西小学校	1980	44	2013	地上	FRP	2013	珪藻土
阿弥陀小学校	2010	14		地上	FRP		砂
北浜小学校	1963	61	2013	地上	FRP	2013	砂
高砂中学校	1977	47	2013	地上	ステンレス	2013	珪藻土
荒井中学校	1982	42	2001	地上	ステンレス	2001	珪藻土
竜山中学校	1985	39	2013	地上	ステンレス	2013	珪藻土
松陽中学校	2000	24	2000	地上	ステンレス	2000	砂
宝殿中学校	1982	42	2013	地上	ステンレス	2013	砂
鹿島中学校	1982	42	2013	地上	ステンレス	2013	珪藻土

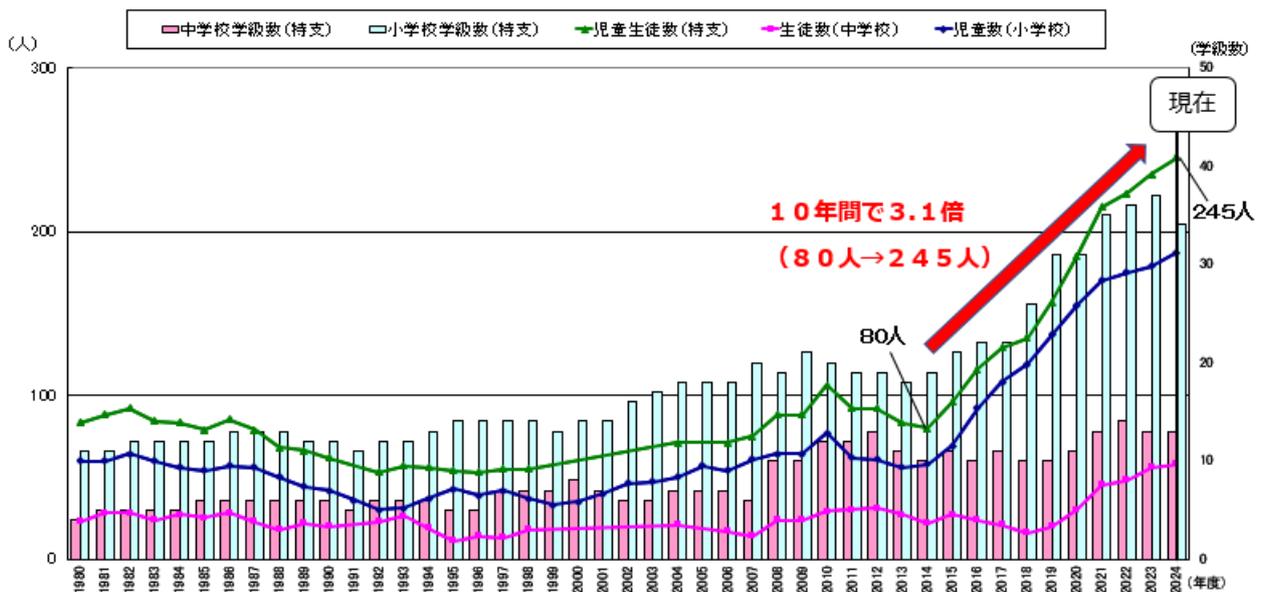
## ▶ 特別支援教育

特別支援学級在籍児童生徒数は、平成26(2014)年の80人から令和6(2024)年には245人と、10年間で約3倍になっており、今後もニーズが高まると予想されます。

1クラスの最大人数が8人であり、その人数を超えるともう1クラス増やす必要があります。

必要な支援に応じて、トイレやシャワーの設置など施設設備の対応が必要となります。

〈特別支援学級在籍児童生徒数の推移〉

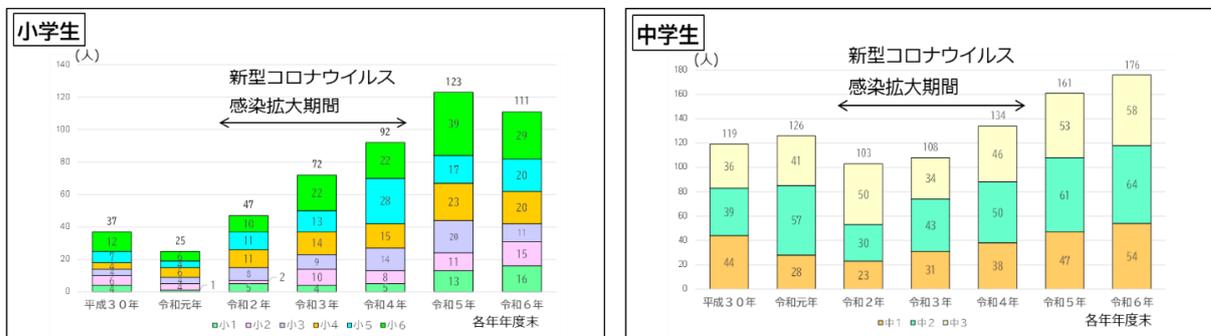


### ▶ 不登校児童生徒への支援（サポートルーム<sup>7</sup>）

不登校児童生徒数は、小学校 3 年生から中学 2 年生まで、学年が上がるごとに増加する傾向があり、中学 2 年生または 3 年生が例年最も多くなっています。

校内サポートルームは、市内全小中学校に設置されており、利用する児童生徒の増加により部屋のスペースが不足する可能性があります。

〈不登校児童生徒数の推移〉



### ▶ 部活動の地域展開

部活動の地域展開について、令和 5 年度から検討委員会を設置し、実証研究などを進めています。

地域クラブ等への夜間や休日の貸し出しが増加することが予想され、鍵の受け渡しによる教職員の負担が増える可能性があります。

### ▶ 学校運営協議会<sup>8</sup>

令和 7 年 1 月からは法律に基づいた全国型の学校運営協議会を設置しています。

学校支援活動として、授業サポート、イベント補助、クラブ活動、清掃活動などが行われており、今後、活動がより活発になることが見込まれています。

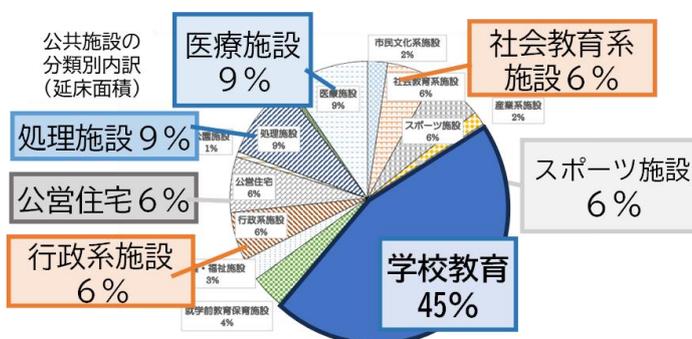
### ▶ 複合化・共用化

昭和 60(1985)年以前に建設された建物は、建築後 40 年以上を迎えており、老朽化が進行しています。

公共施設全体の延床面積に占める割合では学校教育系施設が最も大きく、約 45% を占めています。

公共施設全体最適化計画では、すべての公共施設の総量を令和 18 (2036) 年までに 20.72%削減することを目標としています。

〈公共施設の分類別内訳(平成 27 年度末現在)〉



## 2 意見聴取

意見聴取を適宜実施し、審議会の議論に活用しています。

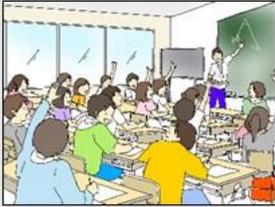
区分	実施日	対象（場所）	方法	参加・回答人数	
令和6年度	高砂市新たな学校づくり推進計画策定に向けたアンケート調査	小学校低学年（1～3年生）	WEB アンケート	1,977人	
		小学校高学年（4～6年生）		1,906人	
		中学生（1～3年生）		1,372人	
		児童生徒の保護者		865人	
		未就学児の保護者		446人	
		教職員等		345人	
		市民		297人	
	高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会	2/15	市民（教育センター）	報告会	18人
		2/18	市民（曽根地域交流センター）		6人
		2/20	市民（中筋地域交流センター）		4人
		2/22	市民（高砂地域交流センター）		12人
		2/25	市民（北浜地域交流センター）		7人
2/27		市民（高砂市役所南庁舎）	25人		
令和7年度	これからの学校のあり方を考えよう！	5/30～6/15	市立小中学校の教職員	WEB アンケート	116人
		6/25・7/23	市立小中学校の教頭先生	ワークショップ	16人
		6/24～7/10	児童	ヒアリング	56人
		7/16～7/25	生徒	WEB アンケート	57人
		8/5	生徒	ワークショップ	30人
		8/23	児童生徒	ワークショップ	10人
		9/3～9/24	市立就学前職員	WEB アンケート	219人
		9/20・9/28	市民（高砂市役所分庁舎）	ワークショップ	30人

### ○主な意見

適正規模 適正配置	児童	2～3クラスの回答が最も多く、「クラス替えができる」「みんなのことをよく知れる」という意見がある。
	生徒	4～5クラスの回答が最も多く、「新しい人間関係が築ける」「行事が盛り上がる」という意見がある。
	教職員	・小学校は2～4クラス、中学校は4～6クラスが適している。単学級の場合、教員の業務量増加や相談相手の不足等の不安の声が挙げられた。 ・小学校は4km・30分以内、中学校は6km・60分以内の回答が最も多い。通学時の安全面や体力面を考慮した対応策が必要との意見がある。
	就学前職員	・小学校は2～3クラス、中学校は4～6クラスが適しているとの回答が最も多く、「クラス替えができ環境の変化がある」「多様な関わり方ができる」という意見がある。 ・小学校は4km・30分以内、中学校は6km・60分以内の回答が最も多い。国の基準以上は安全面や熱中症へのリスクが高まることへの不安の声がある。また、中学生においては自転車の使用を前提とする意見が多かった。
	市民	「財政効率・行政効率だけではなく、教育効果・教育観点の検証が必要」「クラス替えができないのは問題」という意見がある。

### 3 これからの学校像

#### ○一定規模の学習集団



- ・切磋琢磨でき、さまざまな意見に触れられる学級規模

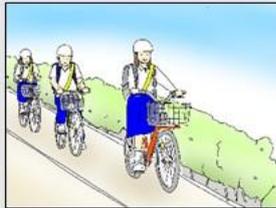


- ・活気ある学校行事が行える規模の確保

#### ○地域の実情を踏まえた通学の負担軽減策の検討



- ・バスや公共交通機関など



- ・自転車など

### 多様な教育活動ができる 学習集団の規模の確保

#### ○多様なニーズへの支援



- ・一人ひとりのニーズに応じた適切な指導・支援

#### ○快適に過ごせる学校施設



- ・打合せスペースなどのある職員室

#### ○プールのあり方



- ・民間温水プールの活用

#### ○連続性のある学びの推進



- ・教職員の交流



- ・学年を超えた交流

#### ○教育DXの推進



- ・遠隔地との交流



- ・タブレットや電子黒板の活用

#### ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



- ・一人ひとりに合わせた学習ができる環境



- ・児童生徒が互いに協力しながら学べる環境

#### ○探究的な学びの推進



- ・地域の人材や資源の活用



- ・学習の成果発表

### 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

第4期高砂市教育振興基本計画の内容や高砂市の学校を取り巻く現状と課題を把握するとともに、児童生徒、保護者、地域住民、教職員などさまざまな関係者からの意見聴取を実施し、その結果を整理したうえで、テーマごとに高砂市が今後取り組むべき新たな学校づくりの方向性を検討しました。それらの方向性の実現に向けた「これからの学校像」の例を提示します。

### ○ユニバーサルデザイン

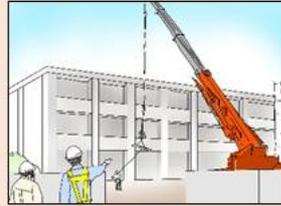


・誰もが使いやすい施設



・誰もが移動しやすい施設

### ○老朽化対策



・計画的な整備・維持管理による安全安心な校舎

### ○防犯対策



・屋内で遊べる環境の整備



・防犯カメラによる不審者の対応



・校門の電気錠システムによる開錠管理

安全・安心、  
快適に過ごす  
ことができる  
施設の整備

### ○給食のあり方



・給食センターからの配送



・自校式による給食の提供



・ランチルームの活用

### ○地域とともにある学校づくり



・地域の人の活動拠点



・地域の人との多様な交流

### ○部活動の地域展開



・地域住民や地域クラブが主体となった活動



### ○防災機能の強化



・防災訓練の合同実施



・防災備品の置き場の確保

### ○学校施設の複合化・共有化



・地域の人も利用できる空間



学校と地域の連携の充実

## 4 4つの目指すべき方向性

### (1) 多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保

#### ・適正規模

小学校・中学校ともに、一定数の子どもたちが切磋琢磨したり、多様な考えを理解したりしながら集団で生活し、学び合う環境を確保することが重要であると考え、適正規模は以下の基準が妥当と判断します。

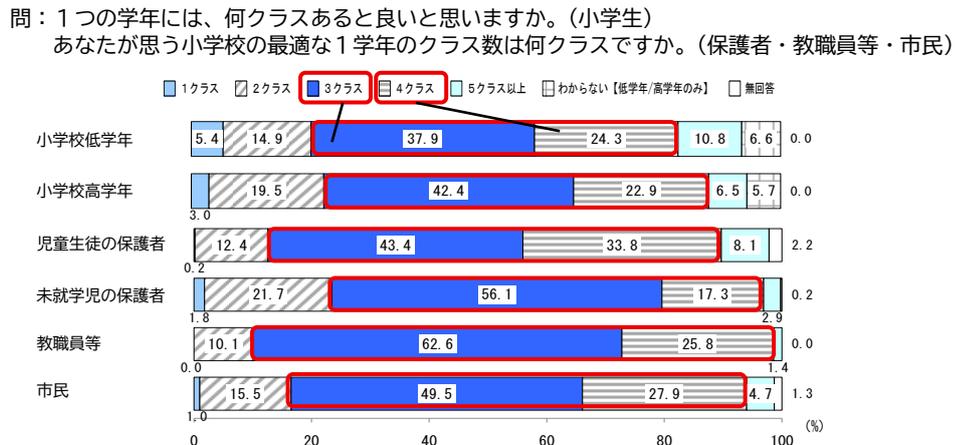
■小学校：12学級から24学級（1学年あたり2学級から4学級）

■中学校：12学級から18学級（1学年あたり4学級から6学級）

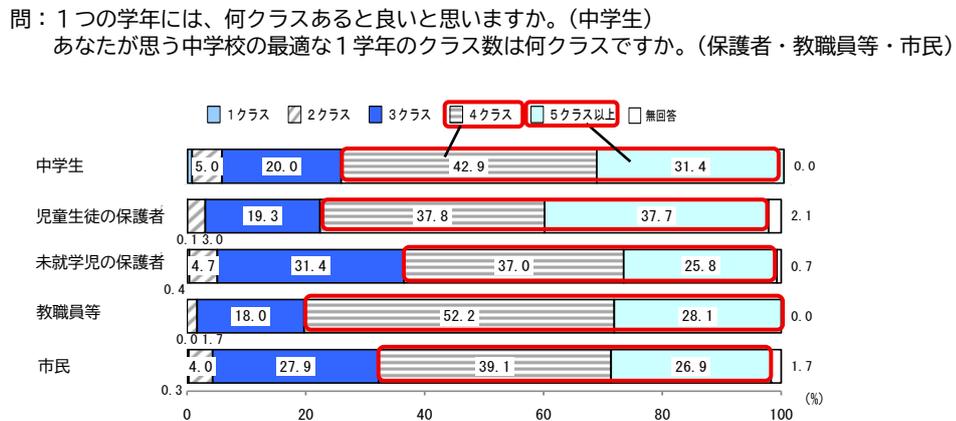
※1学級あたりの児童生徒数は35人とする

#### [アンケート]

#### 小学校



#### 中学校



## ・適正配置

適正配置は「通学距離と通学時間」で定めることとし、各学校における通学距離の現状やアンケート調査の結果を踏まえ、適正配置は以下の基準が妥当と判断します。ただし、基準内であっても、遠距離になる場合には、地域の実情を踏まえた負担軽減策（バスや公共交通機関、自転車等）を検討する必要があることを付記します。

■小学校：おおむね4 km、60分以内

■中学校：おおむね6 km、60分以内

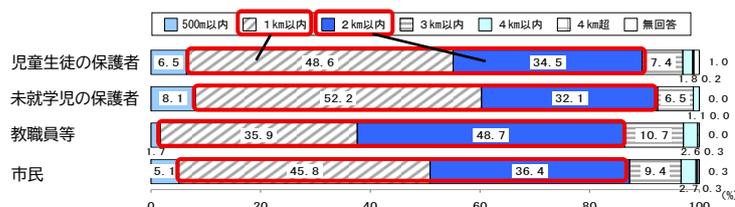
※遠距離では、地域の実情を踏まえた負担軽減策を検討する

### [アンケート]

小学校

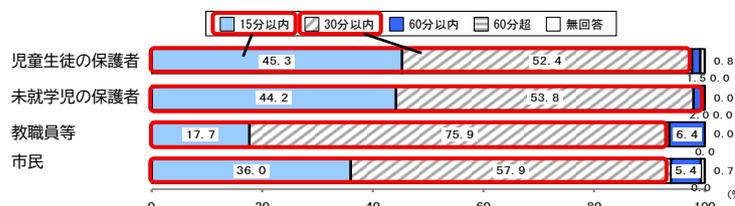
#### 小学生の通学距離の許容範囲（保護者・教職員等・市民）

問：あなたが思う小学生の通学距離の許容範囲は次のうちどれですか。



#### 小学生の通学時間の許容範囲（保護者・教職員等・市民）

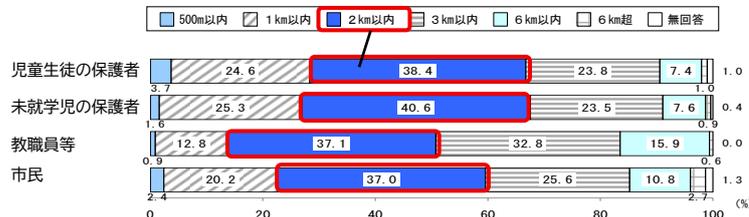
問：あなたが思う小学生の通学時間の許容範囲は次のうちどれですか。



中学校

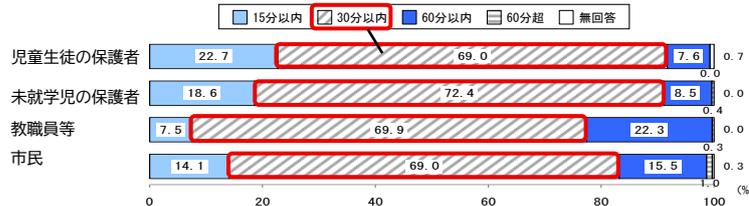
#### 中学生の通学距離の許容範囲（保護者・教職員等・市民）

問：あなたが思う中学生の通学距離の許容範囲は次のうちどれですか。



#### 中学生の通学時間の許容範囲（保護者・教職員等・市民）

問：あなたが思う中学生の通学時間の許容範囲は次のうちどれですか。



## (2) 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

### ・連続性のある学びの推進

高砂市では、義務教育9年間の「学び」と「育ち」の系統性・連続性を重視して、中学校ブロックの連携を図り、特色ある質の高い教育を推進しています。また、小学校と中学校が連携した行事や合同活動、交流を行い、児童生徒間のコミュニケーションの機会を増やし、児童生徒の自己肯定感・自己有用感の向上、互いを認め合える豊かな心の育成に取り組んでいます。

これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 小学校及び中学校の再編にあたっては、各々の学校規模を確保した上で、小中一貫教育の推進が図れるよう検討を行う
- 小学校と中学校を施設分離型で再編検討する場合、施設相互の距離をできるだけ短くなるよう配慮する
- 再編後も児童生徒数が減少し、学校規模の変化が生じた際には、更なる再編を検討する

### [意見聴取(一部)]

- ・小6から中1で不安を感じることもと親が増えた
- ・たくさんの人と関わっていい経験ができると思う
- ・9年間を見通したカリキュラムになるのはいいと思う
- ・小学校と中学校で区切らず、年齢に合わせた活動ができる
- ・小・小の連携や地域の特性も考慮したい
- ・円滑な連携をしていくためには、一体型の方が連携しやすいと思う

## ・新たな学びへの対応

高砂市では、主体的・対話的で深い学び<sup>9</sup>の実現のために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るとともに、ICT<sup>10</sup>（情報通信技術）の効果的な活用に取り組んでいます。また、「産学官民」と連携した「探究的な学び」や、「体験教育・キャリア教育<sup>11</sup>」を核とした学びを推進しています。

これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 個別最適・協働的な学び、探究的な学びを支える学習形態とそれらに必要な設備・空間の確保
- ICT を効果的に活用した学びの充実
- 教員数の確保について、引き続き県・国へ要望するとともに、兵庫型学習システム<sup>12</sup>の導入により教職員の専門性を活かした児童生徒の実態に応じた指導に取り組んでいく

### [意見聴取(一部)]

- ・ プロジェクターやホワイトボード、折りたたみ式の机があると活用しやすい
- ・ 敷地内全域で安定して使えるWi-Fi環境の整備
- ・ 教職員が新しい時代の学びにアクセスしやすい環境づくり
- ・ 自分の興味のある学びを選択できたらいい
- ・ こども自身が自分で選んで決めてチャレンジできる場、興味を広げて探究していける場が必要
- ・ 少人数学級は競争が少なくなるが、新しいチャレンジはしやすそう
- ・ 少なすぎると切磋琢磨して成長する妨げになり、多すぎると細やかな配慮に欠ける

<sup>9</sup> 主体的な学びとは、学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び

対話的な学びとは、こども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び

深い学びとは、習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

<sup>10</sup> ICT（情報通信技術）とは、パソコンやタブレット端末、ネットワーク、ソフトウェア、デジタル教材などを活用し、情報の収集・整理・発信や、人と人とのつながりを支える技術の総称

<sup>11</sup> 将来への夢をもち、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育む教育

<sup>12</sup> すべてのこども達の可能性を引き出す指導の一層の充実を図るため、各学校において「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、児童生徒の心の安定を図り多面的な理解に基づく指導を行う、国の加配措置を最大限に活用した県の事業

### (3) 安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備

#### ・学校施設の安全性の確保と機能性の向上

高砂市では、安全・安心で、より快適な教育環境の実現に向けて、計画的な教育環境の整備を行うとともに、学びの充実に向けた教育環境の見直しと対策の検討を進めています。また、安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、食に関する指導を推進し、生涯にわたって健やかに過ごせる体の土台づくりに努めています。

学校プール施設については、天候や熱中症等の影響により授業実施が不安定となっている現状や、施設の老朽化を踏まえ、水泳授業のあり方について検討しています。

これらの取り組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 学校施設の老朽化対策については、校区の再編時期やコスト等を総合的に勘案し、効果的な整備方法を選択しながら、計画的に進める
- 防犯カメラの設置などによる安全性の確保の検討
- ユニバーサルデザイン<sup>13</sup>による誰もが使いやすい施設の検討
- 小学校給食は、「施設の老朽化対策」と「学校給食衛生管理基準への適応」を進める
- 老朽化する小学校の給食室更新に際しては、現在実施している自校方式を整備するが、再編の状況によっては給食センター方式の導入も検討する
- 中学校給食は、学校給食センターによる配食方式を継続する
- 小学校の水泳指導は民間プールへの委託化を段階的に進める
- 中学校の水泳指導については、小学校の委託化の状況を踏まえて検討を行う

#### [意見聴取(一部)]

- ・ 学校施設の老朽化の整備は早急にしてほしい
- ・ 警備員の常駐や防犯カメラを設置し、セキュリティの確保してほしいがプライバシーへの配慮は必要
- ・ バリアフリーを整備してほしい
- ・ 食育を充実してほしい
- ・ プール授業は選択制もいいのではないか
- ・ プール授業や維持管理を民間委託できないか

<sup>13</sup> 障がいの有無、年齢、性別、人権などにかかわらず、だれもが利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方

## ・多様なニーズへの支援

高砂市では、特別な支援や配慮を必要とする児童生徒が、「分かる」「できる」「楽しい」を実感できるよう、一人ひとりの個性や教育的ニーズに応じた学びを推進しています。また、不登校の児童生徒が学びの機会を広げていくことができるよう、多様な学びのあり方の検討と確保を推進しています。

これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 特別支援学級等の体制及び環境整備の充実を図る
- サポートルームの環境整備に引き続き取組み、こどもたちの心の安定を図ることのできる学校づくりを進める

**―[意見聴取(一部)]―**

- ・パーティションなどで区切り、複数の部屋をフレキシブルに使えるようにしてほしい
- ・必要に応じてシャワーやトイレを設置してあげてほしい
- ・サポートルームの役割や位置づけの検討が必要
- ・職員の専門性やスキルも大事ではないか

## ・児童生徒、教職員が快適に過ごせる学校施設

学習活動の多様化により、教室や共用スペースなどに求められる機能は大きく変化しています。また、高砂市では、教職員の業務改善や学校全体の働き方への意識改革に取組み、教職員がこどもと向き合う時間の確保と質が高まることにより、健康でやりがいを感じながら働くことができるよう、教職員のウェルビーイング<sup>14</sup>向上を目指しています。

これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 多様な学習活動を展開しやすくするため、施設更新時に教室の面積の見直しを検討
- 職員の業務スペースとして、職場環境の向上を図る
- 教室以外の児童生徒の居場所として、多目的スペースやオープンスペースの検討
- 荷物（教材等）の置き場所や机の適正化の検討

**―[意見聴取(一部)]―**

- ・職員が打合せや相談できるフリースペースを設けてほしい
- ・2つの教室をつなげて合同授業が出来るように、拡張・連携可能な教室配置を望む
- ・室内遊具や体育館の開放など室内でも遊べる環境にほしい
- ・自習室などの1人で学習に取り組める空間がほしい
- ・先生が安心して働ける環境を整えることがこどもの充実した教育につながるのではないか

<sup>14</sup> 一人ひとりが身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念や、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念のこと

## (4) 学校と地域の連携の充実

### ・地域とともにある学校の推進

高砂市では、市の強みである「ものづくり産業」や「歴史・文化・自然」を教育に生かして、地域の企業や地域の人材との協働により、ふるさと・高砂を愛する心を育てるとともに、「伝える大人」と「知るこども」の学びの循環を目指しています。また、充実した大人同士の学びやこども同士の学び、大人とこどもの学び合いの場となるよう、学校施設の地域開放のあり方を検討しています。

これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 地域の自然、歴史、文化、産業などを「教材」とした学習や、地域で活躍する様々な人々と連携した教育活動を展開する
- 学校運営協議会の活動拠点となるスペースの充実を図る
- 令和10(2028)年度を目途に部活動の地域展開を進める
- 部活動の地域展開による学校施設利用のあり方(施設の利用方法、教職員に負担のかからない施設開放のあり方、利用エリアの分離によるセキュリティの確保等)を含めた様々な課題について検討を進める

#### [意見聴取(一部)]

- ・コーディネーター(調整役)の配置や地域とマッチングできる仕組みづくりが必要
- ・地域全体でこどもたちを見守れる環境づくりが必要
- ・地域人材を活用した授業づくり
- ・学校運営協議会において、地域・学校がそれぞれの立場で“こども”を中心に繋がるのが大事
- ・セキュリティが確保できれば、部活動の地域展開もやりやすくなる

### ・学校環境の向上に資する学校施設の複合化の検討

地域社会の変化や公共施設の効率的な活用が求められる中、学校が地域とより良い関係を築きながら持続可能な教育環境を確保することが重要となっています。

そのため、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性を重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 他施設との複合化も検討する
- 学校で対応しきれない部分(施設管理等)を地域に移管したり、逆に地域に必要な機能を学校で提供したりするなど、お互いにメリットを感じられる複合化の組合せについて検討する
- 他施設と複合化を行う場合には、利用エリアや動線を分け、学校の安全管理に留意する

#### [意見聴取(一部)]

- ・地域交流センターや子育て支援施設、図書館等は複合化できるのではないか
- ・こどもと大人がもっと関われる場があると良い
- ・学校の統廃合により地域コミュニティが弱体化するのではないか
- ・こどもが学校にいる時間帯に地域へ共有・開放するのは不安

## ・避難施設としての防災機能強化

高砂市では、避難訓練や防災学習など、刻々と変化する自然状況や社会状況に適切に対応しながら、児童生徒の発達段階に応じた安全・防災教育を推進しています。また、こどもたちが安心して学ぶことができるよう、「学校危機対応ハンドブック」や各学校が作成する「学校安全計画」などを活用し、学校における安全管理の取組みを実施しています。

また、大規模災害時には、地域住民の生命と安全を守る拠点として学校が重要な役割を担っているため、とりわけ浸水被害が想定される地域では、水害時にも安心して避難できる環境を確保することが不可欠となります。

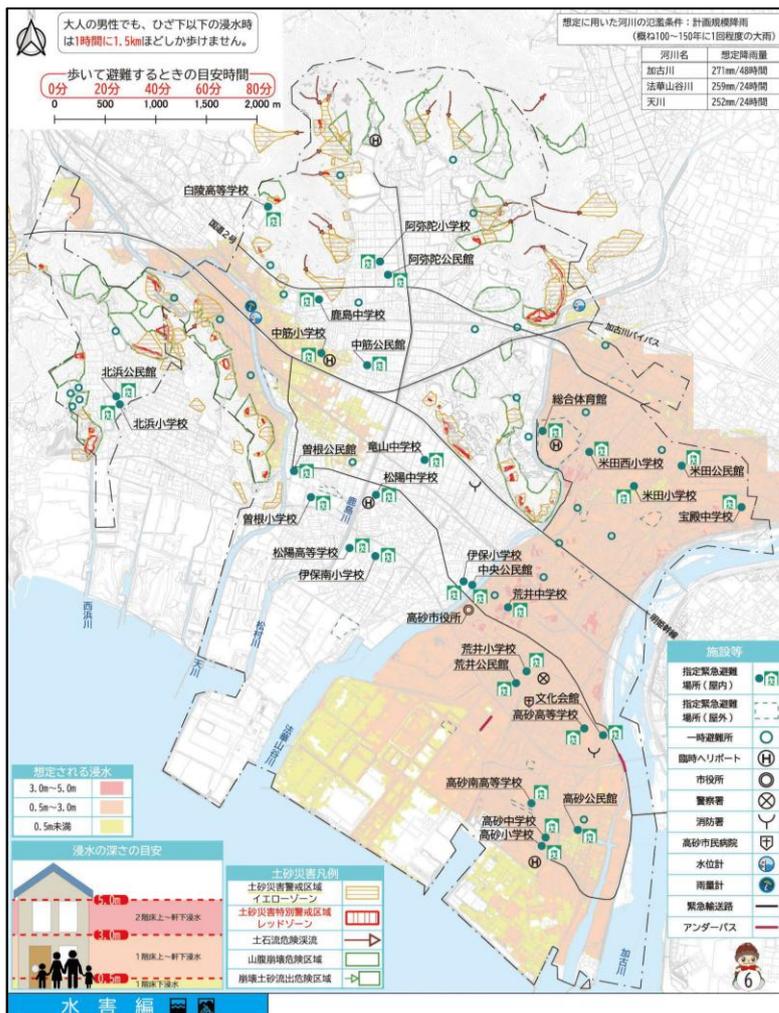
これらの取組みを継続して推進するとともに、新たな学校づくりの検討にあたっては、以下の方向性についても重視し、検討を進めることが妥当と判断します。

- 施設更新時に、防災拠点として必要な設備を計画的に整備し、災害時に地域住民が安心して避難できる環境を確保する
- 浸水想定区域など地域特性を踏まえ、水害時にも機能する避難所として、安全性と継続性を高める

### [意見聴取(一部)]

- ・地震や津波に強い校舎を建ててほしい
- ・登下校中に災害に遭うこともあるので、学校での避難訓練を地域の方と一緒にいき、防災について考えたい
- ・こども園・小・中が一体化していると、災害時に連携して避難したり協力し合える
- ・避難所機能は小学校区ごとに残すべき

〈洪水浸水想定マップ（計画規模降雨 加古川、法華山谷川、天川）〉



出典：高砂市ハザードマップ（保存版 2021）

## 参考資料

### ○高砂市新たな学校づくり推進審議会

令和6年度	第1回 (R6.9.19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高砂市新たな学校づくり推進計画の策定について</li> <li>・高砂市新たな学校づくり推進審議会について</li> <li>・高砂市新たな学校づくりアンケート調査について</li> <li>・その他</li> </ul>	
	第2回 (R7.2.12)	<p>【高砂市教育委員会から高砂市新たな学校づくり推進議会へ諮問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査（令和6年11月実施）結果について</li> <li>・高砂市立学校の現状と課題について</li> <li>・基本方針及び推進計画策定のながれ</li> <li>・市民説明会の開催について</li> </ul>	
令和7年度	第3回 (R7.5.26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民説明会の開催結果について</li> <li>・第4期高砂市教育振興基本計画について</li> <li>・高砂市立学校の現状と課題について</li> <li>・意見聴取について</li> </ul>	
	第4回 (R7.7.28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模適正配置、少人数教育</li> <li>・連続性のある小中一貫教育</li> <li>・個別最適・協働的、探究的な学びへの対応</li> <li>・その他</li> </ul>	
	第5回 (R7.8.27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回審議会の振り返り</li> <li>・安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備</li> <li>・地域とともにある学校の推進</li> <li>・その他</li> </ul>	
	第6回 (R7.11.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の事例紹介</li> <li>・これまでの議論と今後の方向性（案）のまとめ</li> <li>・意見聴取の結果について</li> <li>・高砂市が目指す「これからの学校像」</li> <li>・その他</li> </ul>	
	第7回 (R7.12.11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高砂市が目指す「これからの学校像」</li> <li>・「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）</li> </ul>	
	第8回 (R8.1.29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）</li> <li>・その他</li> </ul>	

○高砂市新たな学校づくり推進審議会委員名簿

選 出 区 分	役 職 等	氏 名
学識経験を有する者	学識経験者 (兵庫教育大学准教授)	押田 貴久
	学識経験者 (兵庫県立大学環境人間学部教授)	安枝 英俊
市内に所在する教育・保育施設及び市立小中学校の代表者又は推薦を受けた者	市内の保育所・認定こども園・幼稚園代表園長(市立)	塩田 和子
	市内の保育所・認定こども園・幼稚園代表園長(私立)	坂牛 裕
	小学校代表校長	赤松 祐人(令和7年3月31日まで) 坂田 克己(令和7年4月1日から)
	中学校代表校長	藤原 寛文(令和7年3月31日まで) 橋本 尚人(令和7年4月1日から)
市内に所在する教育・保育施設に在籍する幼児の保護者並びに市立小中学校に在籍する児童及び生徒の保護者又は推薦を受けた者	就学前教育の保護者(市立)	三好 美弥
	就学前教育の保護者(私立)	衣笠 彩
	小学校のPTA代表者	八木 直子
	中学校のPTA代表者	大谷 敬一郎
学校の運営等に関して協議する機関の代表者又は推薦を受けた者	学校運営協議会代表者	塩谷 右京
社会教育委員の代表者又は推薦を受けた者	社会教育委員代表者	川由 伸一
市内に所在する自治会の代表者又は推薦を受けた者	自治会代表者	渋谷 一郎(令和7年3月31日まで) 砂川 辰義(令和7年4月1日から)
市民(公募)	市民	山里 護
	市民	實川 凜

○高砂市教育委員会からの諮問書

高 教 諮 第 1 号

令和7年2月12日

高砂市新たな学校づくり推進審議会

会長 押田 貴久 様

高砂市教育委員会



「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について（諮問）

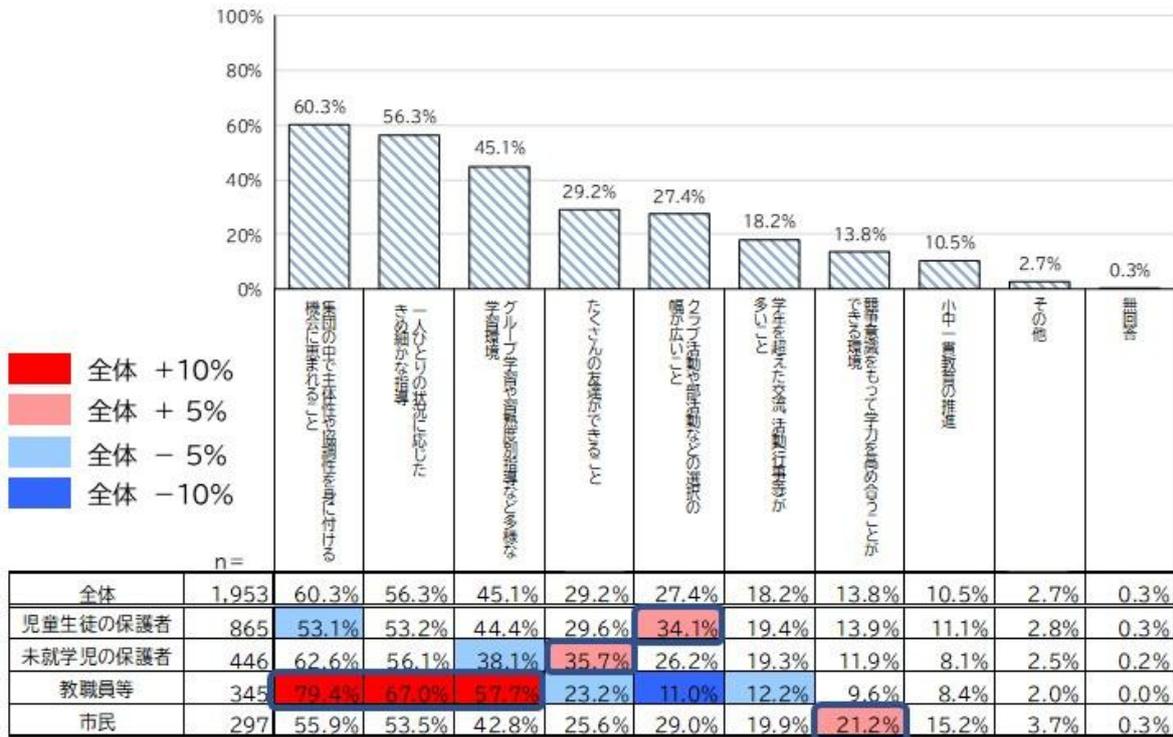
児童生徒に望ましい教育環境を持続的に提供することを目的に、高砂市新たな学校づくり推進計画を策定するため、高砂市新たな学校づくり推進審議会条例第2条に基づき、下記の内容について諮問いたしますので、御審議の上、御答申いただきますようお願いいたします。

記

- (1) 適正規模適正配置に関する基本方針について
- (2) 学校再編の考え方について
- (3) 施設の整備基準について
- (4) その他、上記に関連する事項について

○高砂市新たな学校づくり推進計画策定に向けたアンケート調査結果【概要版】

● 学校教育で重視して欲しいこと(3つまで)



【属性別でみた高い項目】

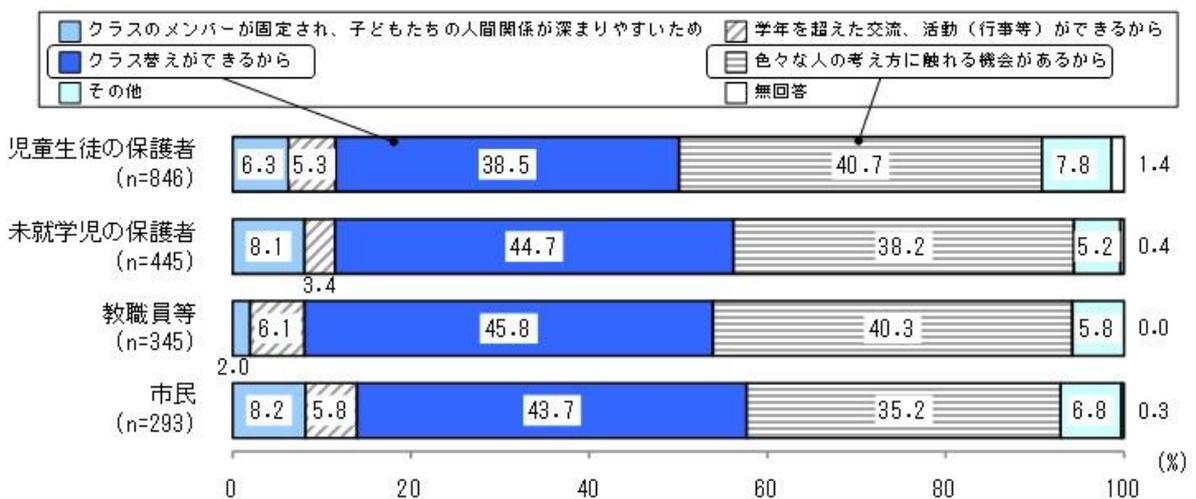
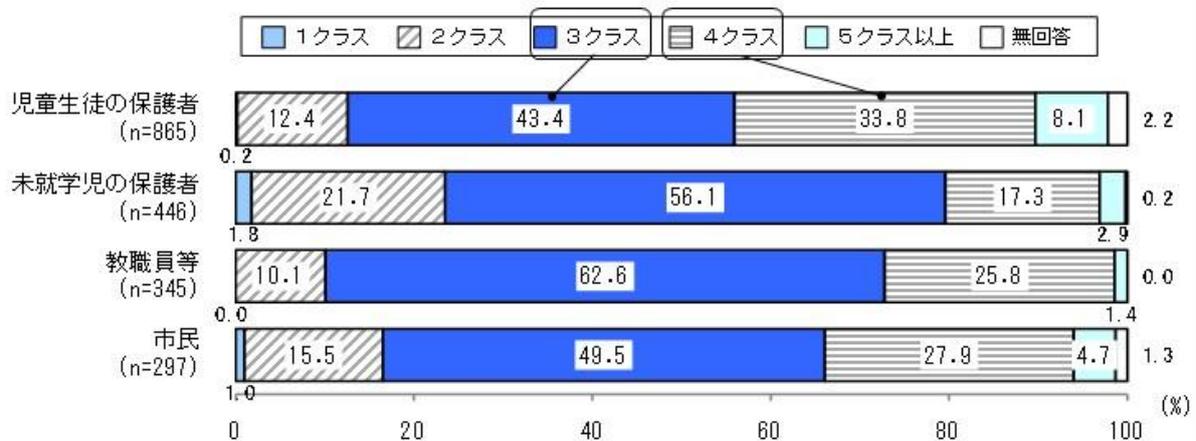
- 児童生徒の保護者は“一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導”などを重視している。
- 未就学児の保護者と市民は“集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること”などを重視している。
- 教職員等は“集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること”や“一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導”などを重視している。

<まとめ>

- 全体では、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導」、「グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境」の順に割合が高くなっており、特に教職員等はこれら3つを重視していることがわかる。
- 未就学児の保護者は、他の属性に比べて「たくさんの友達ができること」を重視している割合が高い。
- 教職員等では、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」の回答割合が他の属性に比べてかなり低く、児童生徒の保護者の方がクラブ活動や部活動を重視している割合が高い。

## ●小学校の最適なクラス数とその理由(当てはまるもの一つ)

小学校



### <自由回答より>

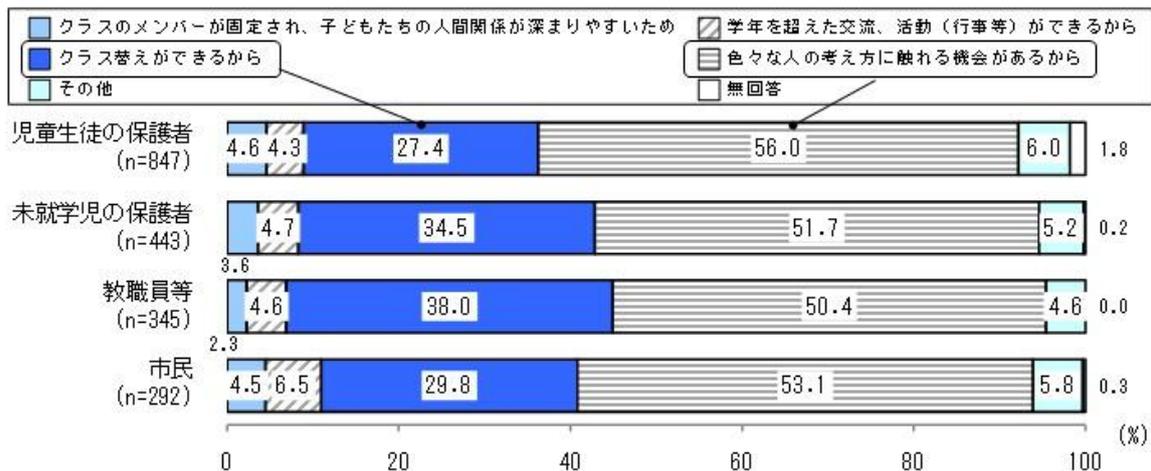
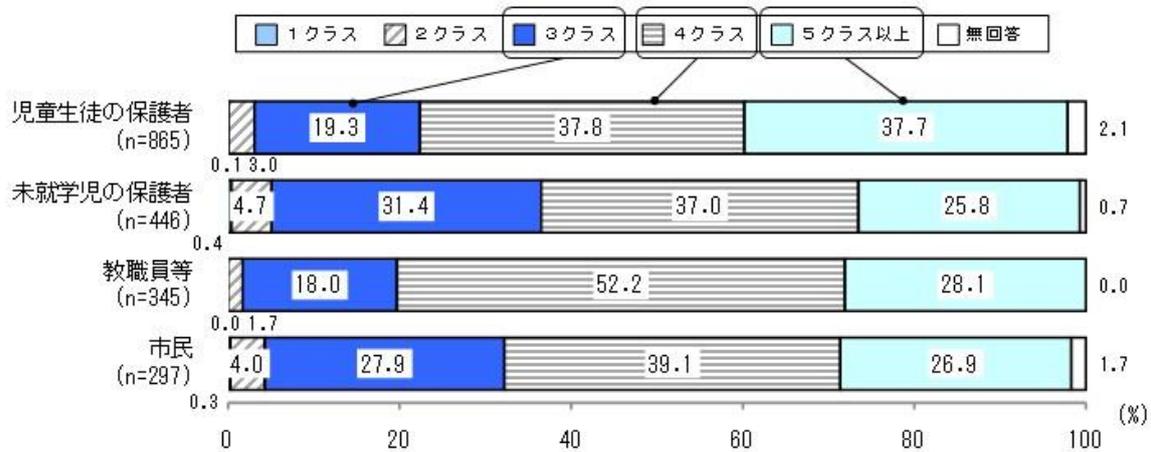
- ・ クラスのメンバーが固定されすぎない。
- ・ 今の子供たちは自主、自立性が少ないのでなるべく少ないクラスで先生の目の届く範囲で見れるように。先生方もなかなか全員を見れないため、人数は少なめで良い。
- ・ 多すぎても目が届かなくなりそうなのと、今の小規模な学校の体制にメリットを感じる事が多いから。

### <まとめ>

- ・ 小学校1学年あたりの望ましいクラス数は、全ての属性において「3クラス」が望ましいとする回答が高い割合を占めていて、次に「4クラス」が多い。
- ・ 理由として「クラス替えができるから」、「色々な人の考え方に触れる機会があるから」が多く、複数のクラス数があることを望んでいる割合が高いことがわかる。
- ・ 複数のクラス数を望む自由回答として、「トラブル(いじめ等)があった時にクラス分けで対応できる」、「クラス替えによって色々な人たちと関わり合いを持ってほしい」といった意見があった。一方で、2クラス以下を選んだ人の自由回答としては、「全体を把握しやすい」「少ないクラスで先生の目が届きやすく、丁寧に見てもらえる」といった意見があった。

## ●中学校の最適なクラス数とその理由(当てはまるもの一つ)

中学校



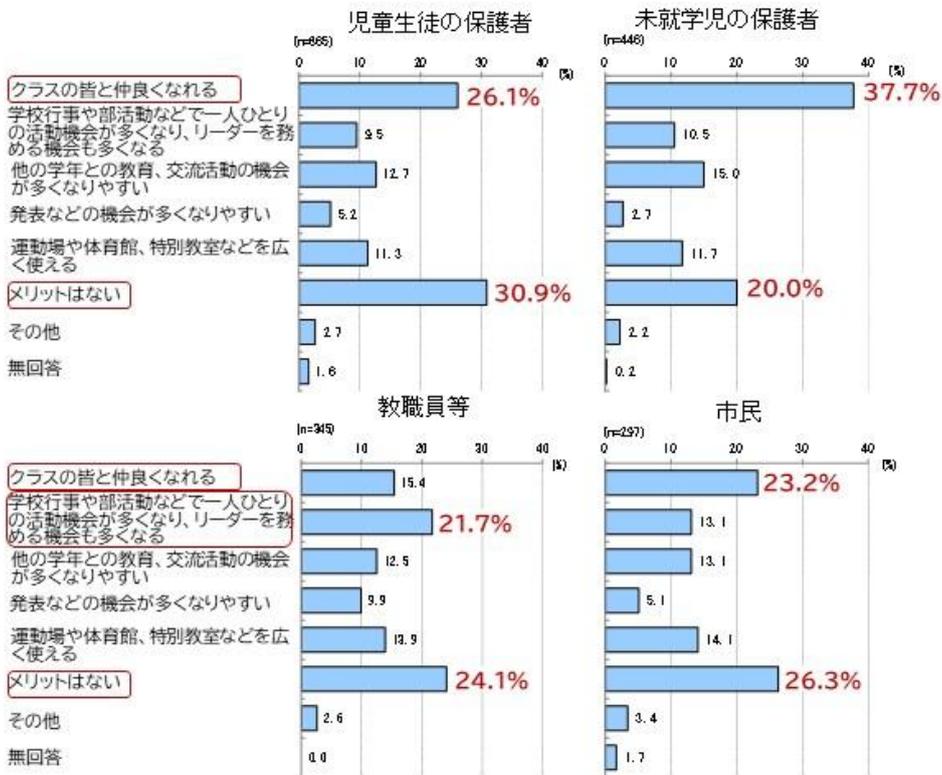
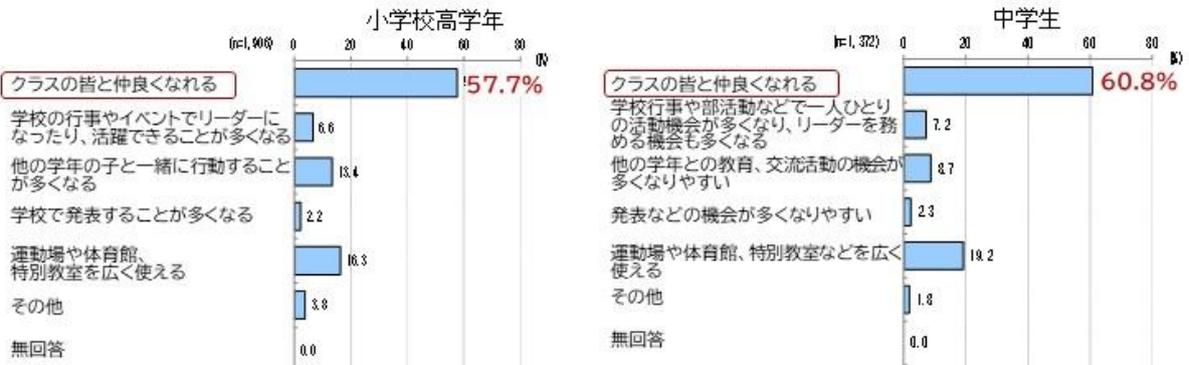
### <自由回答より>

- ・私の地元で子供の頃は7クラスありました。友達の数も一気に増えた時期で色々な友人の意見や交流をもてました。大人になっても長く続く友人もいるので7クラスあっても良かったなと思います。
- ・クラス数が多いと、クラスでまとまりやすく団結しそう。クラス数が多いとひとクラスの人数が少なくなるので先生の目が届きやすくなりそう。
- ・先生が生徒一人一人、ある程度見れる範囲だと思うから。今は1クラス多すぎます。

### <まとめ>

- ・中学校1学年あたりの望ましいクラス数は、全ての属性において「4クラス」が望ましいとする回答が高い割合を占めていて、次に「3クラス」と「5クラス以上」が多い。
- ・理由として「クラス替えができるから」、「色々な人の考え方に触れる機会があるから」が多く、複数のクラス数があることを望んでいる割合が高いことがわかる。
- ・複数のクラス数を望む自由回答として、「トラブル(いじめ等)があった生徒同士が接触するのを回避できる」、「クラス数が多い方が1クラスの人数が少なく先生の目が届きやすく手厚く授業が受けられる」といった意見があった。一方で、2クラス以下を選んだ人の自由回答としては、「全体を把握しやすい」、「小さな学校小さなクラスの方が、学習意欲や態度が積極的になり、子ども達の人間形成にとって効果的だと思う」といった意見があった。

## ●1学年1クラスのメリット(当てはまるもの一つ)



### <自由回答より>

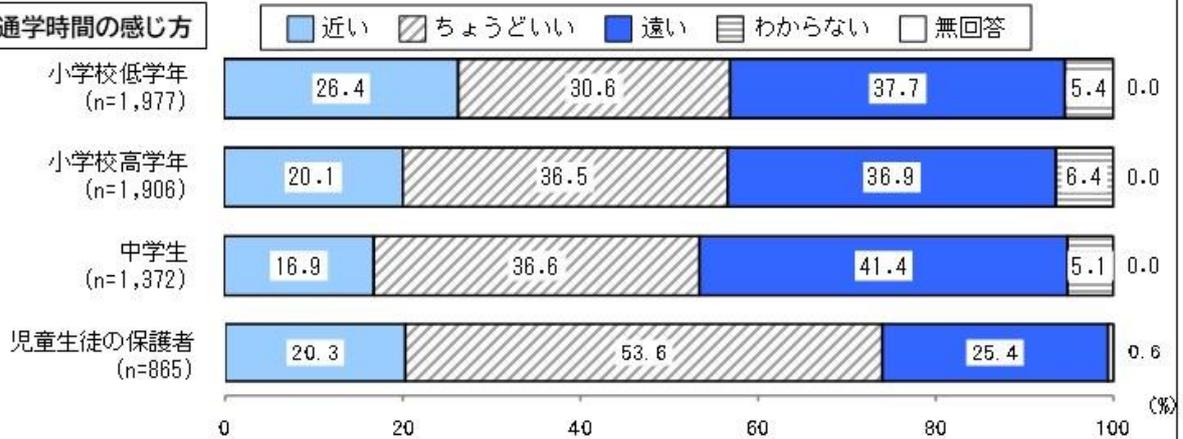
- ・ 少人数で1クラスなら、先生の目が届くからよい。
- ・ 落ち着いて取り組むことができる。変更がききやすい。校外学習等で移動がしやすい。

### <まとめ>

- ・ 全体的に全ての属性において、「クラスの皆と仲良くなれる」の回答割合が高い。属性別にみると教職員等では「学校の行事や部活動などで一人ひとりの活動機会が多くなり、リーダーを務める機会も多くなる」が一番回答割合が高い。
- ・ 保護者、教職員等、市民では「メリットはない」といった回答もそれぞれ20～30%程度あった。
- ・ 自由回答も「仲の良い友人と卒業まで一緒にいることができる」や、「長く深い人間関係を築くことができる」など、人間関係が親密になるといった意見が多かった一方で、「いじめや苦手な人がいた場合、クラス替えがないので対応できない」といった意見も複数あった。

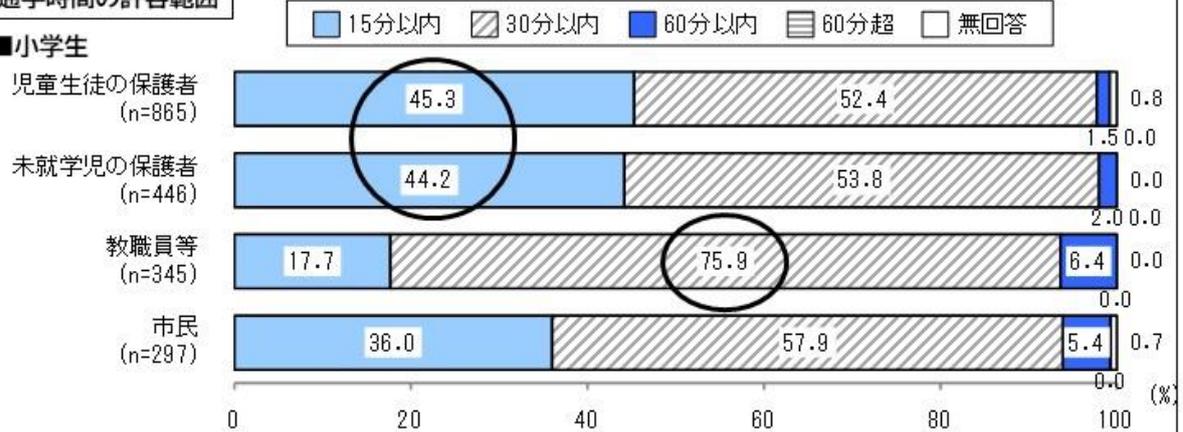
## ●通学時間の感じ方と通学時間の許容範囲(当てはまるもの一つ)

### 通学時間の感じ方

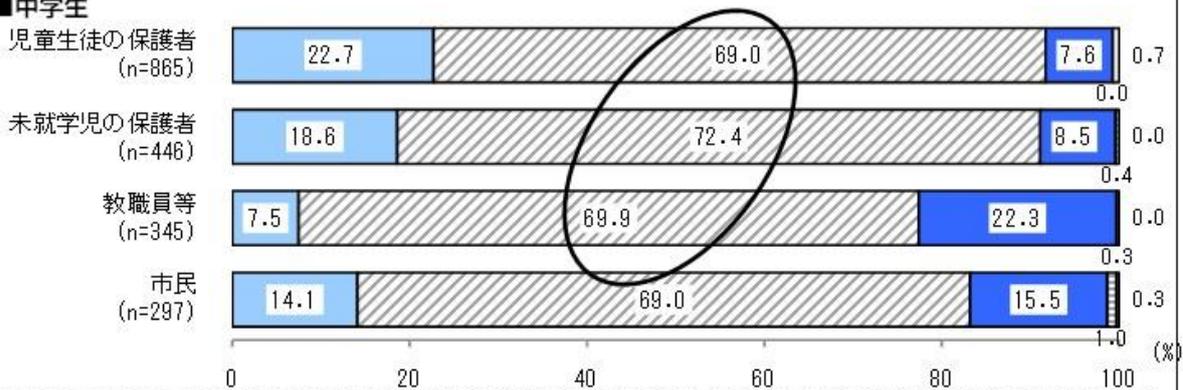


### 通学時間の許容範囲

#### ■小学生



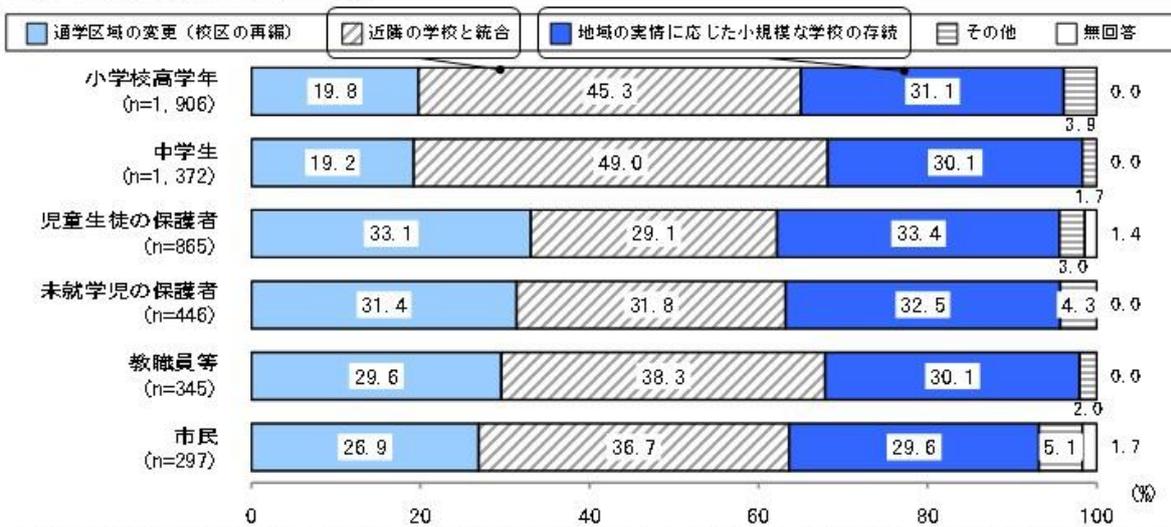
#### ■中学生



### <まとめ>

- 児童生徒の保護者は、こどもの通学時間を「ちょうどいい」と感じている割合が最も高いが、児童生徒は、現在の通学時間を「遠い」と感じている割合の方が「ちょうどいい」より高く、保護者と子ども達に感じ方の差がある。
- 小学生の通学時間の許容範囲は、「15～30分以内」がどの属性においても多いが、教職員等より保護者の方が「15分以内」と回答した割合が高く、考え方に差がある。
- 中学生の通学時間の許容範囲は、「15～30分以内」がどの属性においても最も多く、教職員等と保護者の間でも大きな割合の差は無い。

## ●児童生徒数の減少に対する最も望ましいと思う対策とその理由 (当てはまるもの一つ)



### <通学域の変更を選んだ理由>

- 支援の子が児童数にカウントされないので教室が生徒で缶詰状態。クーラーがない梅雨の時期に参観日に行ったが暑かった。
- 今の時代にあった校区なのか話あった上で今のままがいいのであれば現状維持でいいと思う。が、1つ横の小中学校に通える選択肢も作ればいいと思う。違う校区の学校の方が近いとか…。

### <近接の学校と統合を選んだ理由>

- 人数が少なくなっていく中で統合する事によって学校に元気が出ると思う。もしも統合したら戸惑う事もあると思うけど今よりもいろんな人達と出会うので楽しいことが多くなりいいと思う。
- 生徒数が多く、たくさんの人間関係を作り、いろんな経験して成長し、いいことはもちろん、苦しい想いもしり、社会で打ち勝てる精神力を作してほしい。

### <地域の実情に応じた小規模な学校の存続を選んだ理由>

- 少人数なので、先生の目も行き届きやすく、子ども一人ひとりに対して丁寧に対応して下さる。
- 統合し、通学距離や時間が長くなれば、犯罪に巻き込まれやすくなる為。昨今の変出者の思考は複雑化しており、男児女児問わず狙われる小児愛者も増えている事がとても不安な為。

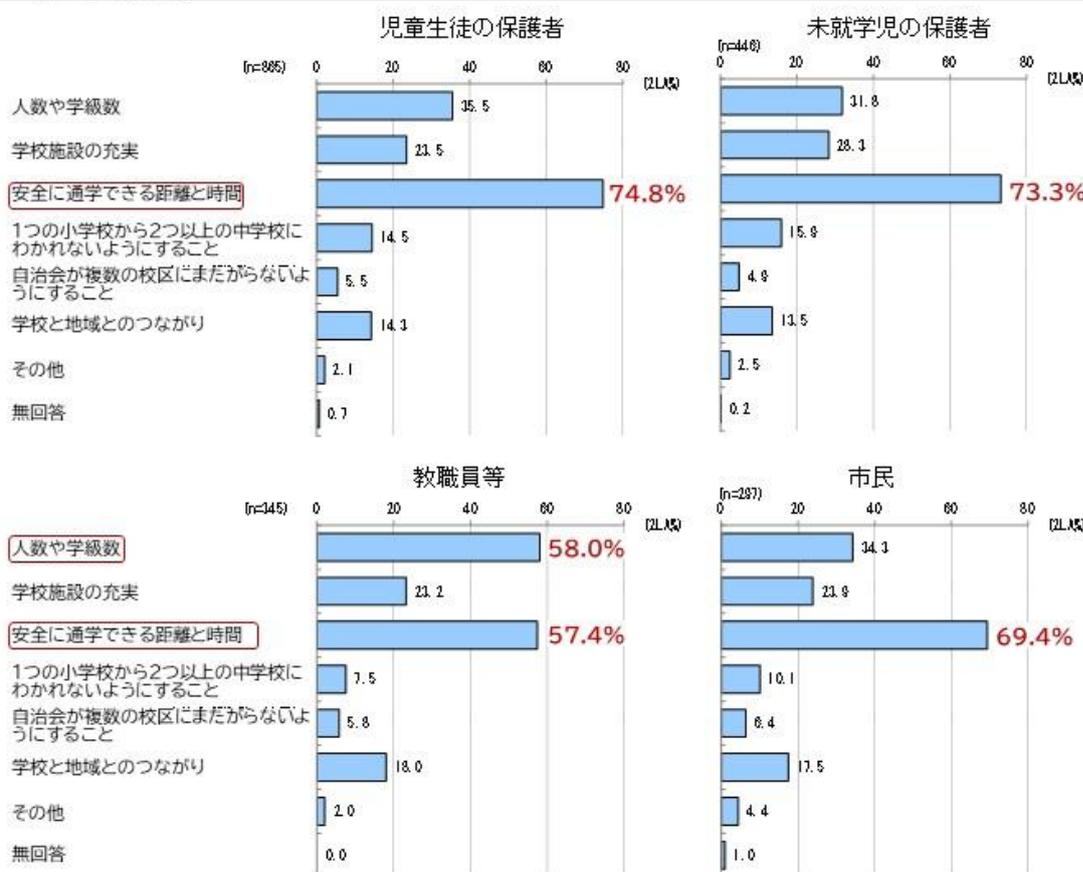
### <その他を選んだ理由>

- 高砂地区は中学でどこの小学校とも混ざらないので、新しい友人関係の構築に乏しく部活の数も少なくて子どもの可能性の幅が狭まる。
- 高砂は小さい市ですが、車さえあれば住み良い場所だと思う。ただ、明石市のように子育て世帯が「住みたい！」と思える理由がない。水道料金が安いくらい。こんなに工場地帯なのだから、そこに勤めている子育て世帯が、子育ての間だけでも住みたいと思えるような政治政策を行えば、少しは人口増加につながるのでは？

### <まとめ>

- 未就学児の保護者は3つの回答が概ね均等な割合となっているが、児童生徒は「近隣の学校と統合」が多く、次いで「地域の実情に応じた小規模な学校の存続」となっている。
- その他の回答として、「子育て支援策の充実や、高砂市の魅力を発信し、人口増を図る」「小中一貫校にして統合する」「校区を再編または撤廃し、合わせて必要であれば近隣の学校と統合する」「中学校は校区を撤廃、小学校は統合」「市を越えた校区再編、統合」などの意見があった。

## ●人数の少ない学校の対策を考える上で大切なこととその理由 (2つまで)



### <人数の少ない学校の対策を選択した理由>

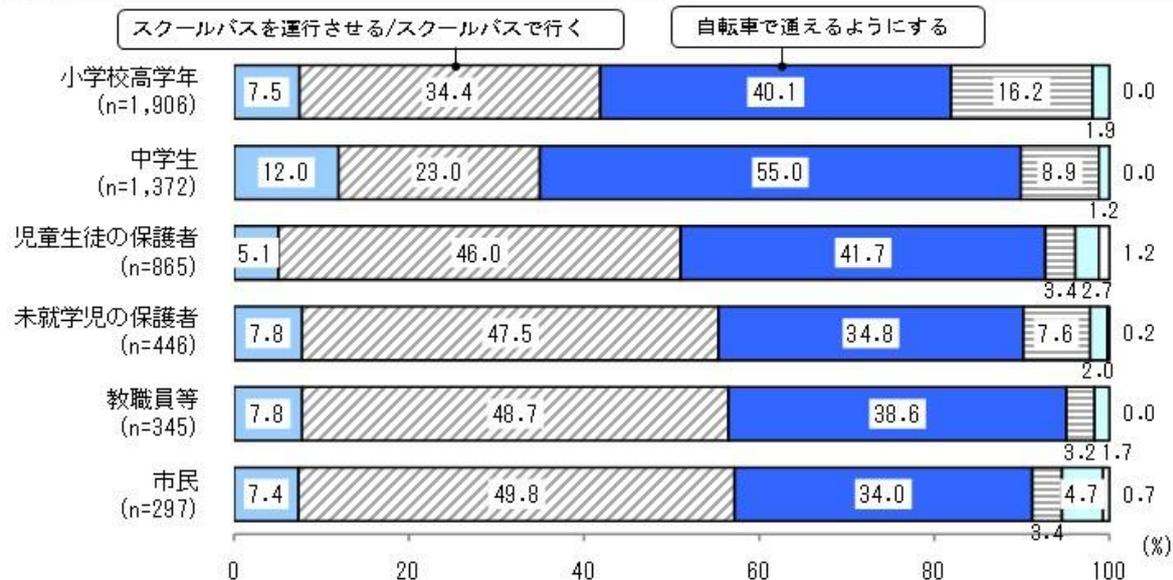
- ・ 子どもの安全と、学校生活が充実するかどうかが大切と考えるため。どんな区切りにするか、分かれるかなどの状況は、子供達は新環境に適応出来ると思う。そこは、適応できる子に育てる方が良いと思う。
- ・ 学校の中に学童をつくることや、エアコンのない部屋にもエアコンをつける。夏は暑すぎる遠いと熱中症のリスクが上がる。1時2時3時の下校は遠いと倒れる。苦手科目や、宿題や特別レッスンを時間の早い下校時、や夏休み、教室で、教えて欲しい。家では、宿題は嫌がる、解らない所は放置している。
- ・ 仲の良い子が住んでる地域で中学校が離れるのは可哀想。
- ・ 学校毎に特色があってもいいと思う。高砂は海も山もあるし地域に合った特色は出せる、スポーツに力を入れた学校があってもいいと思う。
- ・ 安全に生活する上でコミュニケーションが大切だと思うから。

### <まとめ>

- ・ 全体的に全ての属性において、「安全に通学できる距離と時間」の回答割合が高いが、教職員等では「人数や学級数」の回答割合が最も高い。次いで「学校施設の充実」の回答割合が高いが、「学校の地域とのつながり」は優先度が低い。
- ・ その他の回答として、「行事などの格差が出ないようにすること」「教師に負担のかからない人数編成のクラスを作ること」「職員数の充実」「義務教育学校の設立」「いじめ対策」などの意見があった。

## ●徒歩通学が難しい場合の対策(当てはまるもの一つ)

- 公共交通機関（バスや電車等）を使って通学できるようにする
  スクールバスを運行させる/スクールバスで行く  
 自転車で通えるようにする
  駐車場を整備して車で送迎する/車で送迎してもらう  
 その他
  無回答



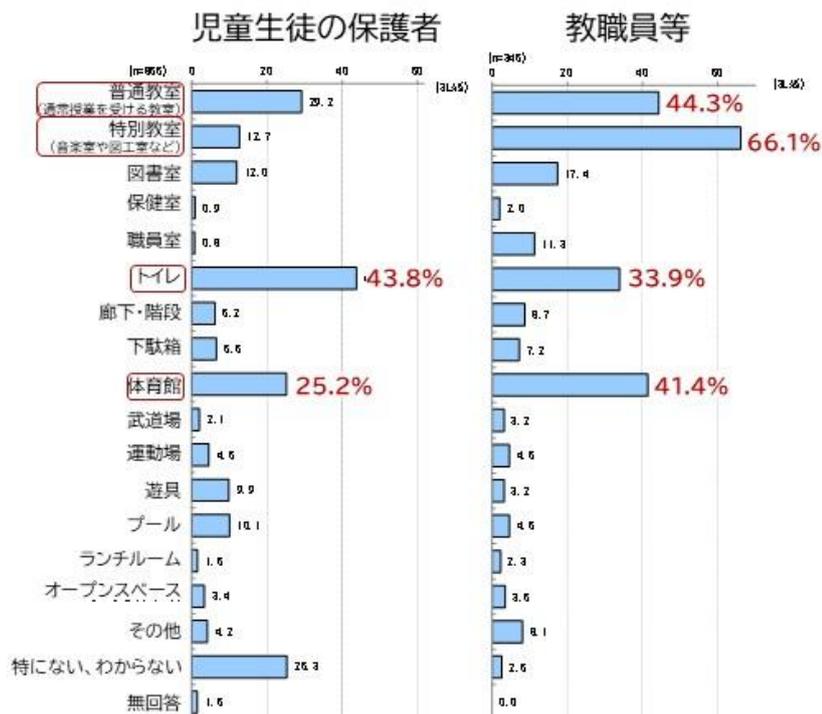
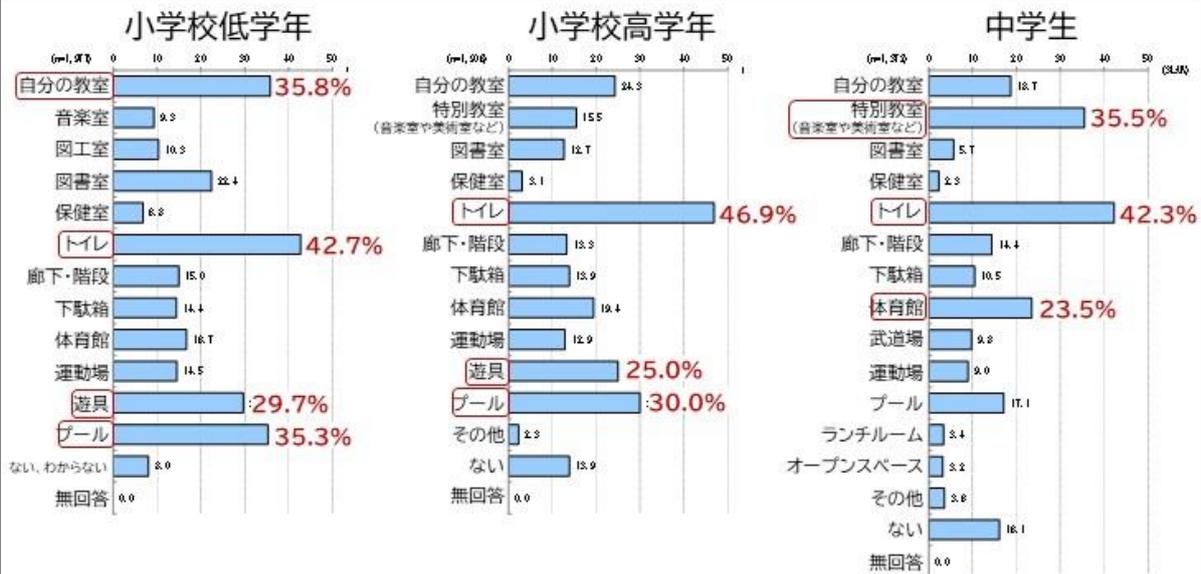
### <自由回答より>

- ・ 自転車と車で送り迎えしてもらう。
- ・ スクールバスや自転車で通う。
- ・ 低学年や体力の無い子の為にスクールバスは必要。自転車通学はどの距離であっても部活動等時間に限りがある子どもや体力が無い子の為に使用に制限をかけないようにする。
- ・ 安全面によりますが、できるだけ自分からで通えるように公共機関、自転車を利用したいと思います。
- ・ 小学生で自転車は危ないので無しですが、それ以外の全てが可能になると保護者も選択ができて有難いなと思います。最寄りにバスがない子はスクールバスや親の送迎、親の出勤時間と学校開始時間が合わない子はバスやスクールバスなど。
- ・ 自転車にするにも、安全に移動できる道の整備が必要。難しいならスクールバスも期待したい。
- ・ 全ての生徒がスクールバスなどを利用するのは人数の関係で難しいのではないかと考える。低学年はスクールバス、高学年は自転車といったように、学年によって分けてはどうか。
- ・ 中学生は自転車通学が良いと思うが、小学生は安全面では厳しい。その場合は状況によりスクールバス。

### <まとめ>

- ・ 児童生徒の回答は、「自転車で通えるようにする」が多く、保護者、教職員等、市民の回答は「スクールバスを運行させる」が多い。バスについてはコミュニティバスよりスクールバスの方を望んでいることがわかる。
- ・ その他の回答として、「中学生は自転車通学、小学生はスクールバス」「様々な通学方法を認める」「コミュニティバスを活用する」などの意見があった。

## ●学校の建物で改善してほしい場所(3つまで)



### <まとめ>

- ・ 児童生徒では「教室」「トイレ」「体育館」「プール」「遊具」などが多い。
- ・ 保護者、教職員等では「教室」「トイレ」「体育館」が多くなっている。
- ・ その他の回答として、「校舎全体」「ロッカー」「駐車場・駐輪場」「校庭・中庭」「給食室」などの意見があった。

## ●学校の建物についてどのように改善してほしいか(3つまで)



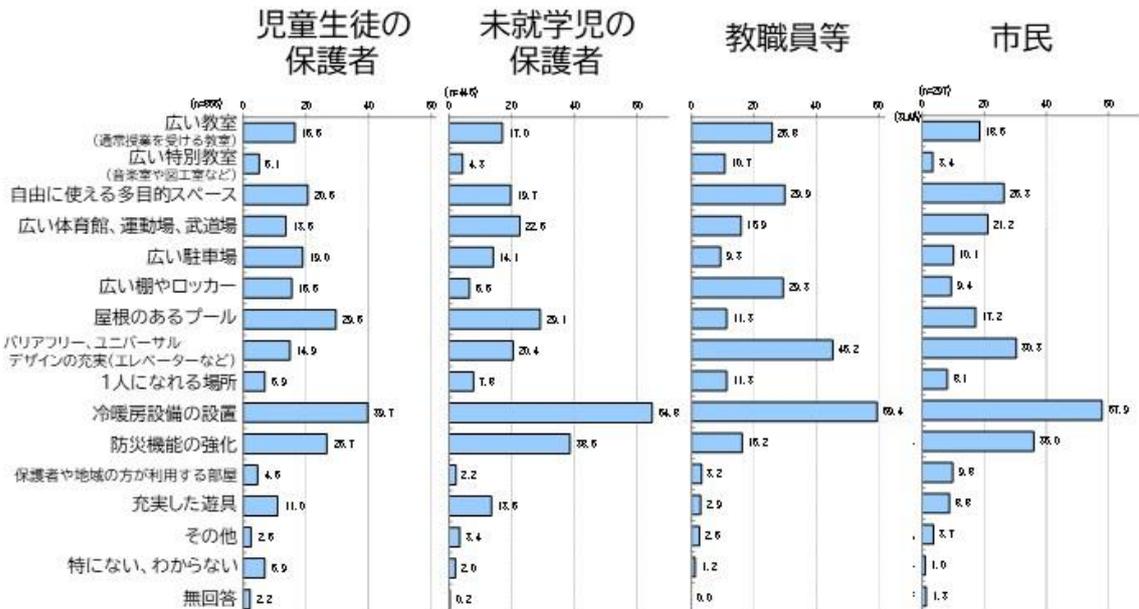
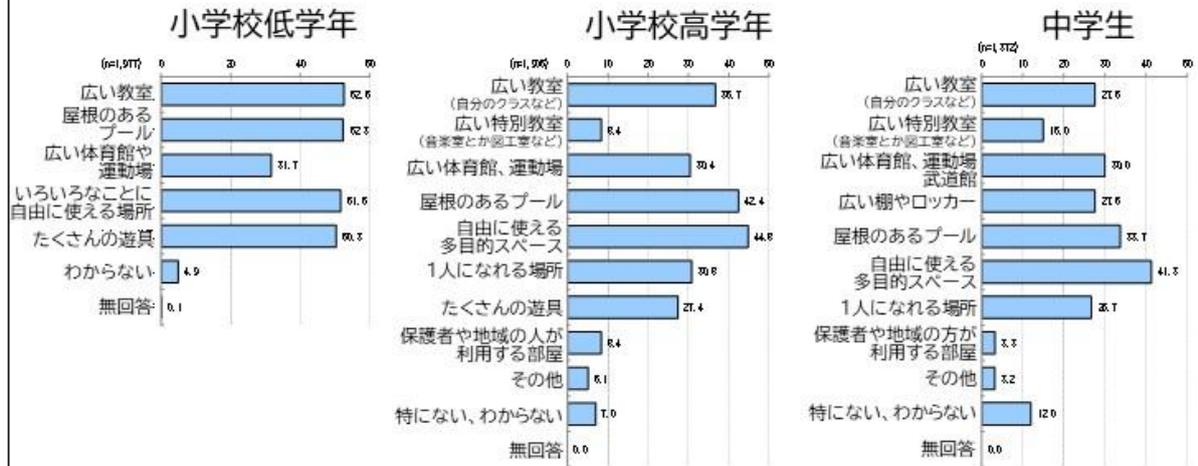
### <自由回答より>

- ・ 体育館にクーラーをつけてほしい。
- ・ 天井を今より高くして圧迫感の軽減 建物全体的に柔らかい色や素材使用で温かい雰囲気になれば。
- ・ 免震構造ができていないのならないと思う。外観が寒々しいので、ベージュなどあたたかい色に塗装するのいいと思う。

### <まとめ>

- ・ 全体的に、「きれいになって欲しい」「エアコンをつけて欲しい」「広くなって欲しい」が多い。
- ・ その他の回答として、「椅子や机がぐらぐらしないようにして欲しい」「学校全体をきれいにして欲しい」「男子更衣室が欲しい」「天井の雨漏りを直して欲しい」などの意見があった。
- ・ 前ページの回答と合わせると、「特別教室や体育館のエアコンをつけて欲しい」「トイレがきれいになって欲しい」「教室が広くなって欲しい」「プールをきれいにして欲しい」などの意見があった。

## ●学校に必要だと思うもの(3つまで)



### <自由回答より>

- ・ 固定の壁で区切らず、広く使いたい時には広くできるように動かせる扉などで空間を仕切れるようにする。
- ・ 広さより、集中する時、友達と楽しく過ごす時、先生に相談したい時、1人でゆっくりしたい時など、状況にあった空間があると、子供も先生も、気持ちを切り替えやすいと思う。

### <まとめ>

- ・ 小学生は、「自由に使える多目的スペース」「屋根のあるプール」「広い教室」が多い。
- ・ 中学生では、「自由に使える多目的スペース」「屋根のあるプール」「広い体育館、運動場、武道館」の順が多い。
- ・ 保護者、教職員等、市民では「冷暖房設備の設置」が最も多く、「屋根のあるプール」や「バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実(エレベーターなど)」も多い。
- ・ その他の回答として、「屋上の開放」「大きな図書室」「自習室」「各スポーツ専用の場所」「洋式トイレ」「防犯設備」「特別教室や体育館のエアコン設置」などの意見があった。



○みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会～

みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会～まとめ 2025年2月

■ 2/15 教育センター 18名参加

- ・できることをもっと取り入れたらどうか。(例えば、近隣市町の取り組みとか)
- ・学校に人を増やす考えはないのか。
- ・教育で高砂市のウリが作れるのではないのか。
- ・子どもと大人がもっと関われる場があると良い。→地域の力をもっと頼れるような環境の整備
- ・教育とまちづくりは繋がるのではないのか。
- ・小中学校で基準が違うが、そのまま適用して良いのか。→高砂市の基準を作ってはどうか。
- ・療育などの情報が少なく、保護者まで届いていない。
- ・先生の役割分担はできないか。

【参加者から出た質問】

- Q.補助員は中学校に配置されないのか。
- A.配置している。
- Q.20年先ではなく、できるところからやるべきではないか。
- A.この計画は20年後にどうするかではなく、20年間どうするかを示す。



■ 2/18 曾根地域交流センター 6名参加

- ・こういう場にもっと人が来て欲しい。
- ・子どもが減りすぎてビツクリしている。
- ・小6→中1で不安を感じることもと親が増えた。
- ・学校と地域が繋がれるところと無理なところがある。(市民の力があるとこ、ないところ)

【参加者から出た質問】

- Q.無関心な親が多すぎるので、親が学ぶ機会も必要ではないか。
- A.もっと地域を巻き込むやり方を検討する。
- Q.どの学校に子どもが通っているかで保護者のアンケート調査の回答に違いはあるのか。
- A.学校別のクロス分析があるので、丁寧に分析する。
- Q.現地建替えか、移転建替えか。
- A.住宅地と市街化調整区域に差があるが、住宅地内に学校用地を確保するのは難しい。難しくてもやるか、現地建替えて考えるかは検討していく。
- Q.以前から分散進学はあったが、マイナスなのか。交友関係が広がっていいのではないか。
- A.分散進学は小6の児童や保護者が不安を感じるし、受け入れる側も不安を感じると聞いている。
- Q.行政や学校だけでは対応できないことも増えてきているので、地域や市民の力がこどもを教育する上で必要だと思う。地域として関われることもあるが、教育委員会として、教育の場に地域や市民が関わるのはどう思っているのか。
- A.連携をとりながら地域や市民の方々に助けていただきたい場面はたくさんある。学校側も発信できるようになるといいと思う。



■ 2/20 中筋地域交流センター 4名参加

- ・少人数学級は競争が少なくなるが、新しいチャレンジはしやすそう。
- ・学年ではなく、レベルに応じた学びができないか。(例えば、モデル校を導入して検討)
- ・不登校の原因をもっと知る必要がある。
- ・意見交換の場をもっと増やして欲しい。

【参加者から出た質問】

- Q.施設一体型小中一貫校はあり得るのか。
- A.具体的に行っていないが、検討は必要。
- Q.1クラスの人数はどれくらいが最適か。
- A.文部科学省は小学校35人、中学校40人を基準としている。
- Q.この計画はどのようなスケジュールか。
- A.10年、20年後の将来を見据えた今後の学校のあり方を検討している。
- Q.社会や地域における学校の役割の見直しが必要ではないか。
- A.学校と地域の関係、学校と地域の人の関わり方は検討していく。
- Q.暑さが厳しくて、通学に配慮が必要ではないか。
- A.通学方法については、今後検討していく。

“学校”の在り方について、色々な意見があるね。



みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会～まとめ 2025年2月

■ 2/22 高砂地域交流センター 12名参加

- ・答への誘導はせずに、色々な意見を聞いて欲しい。
- ・アンケート調査の取り方に疑問を感じた。
- ・全員の顔と名前がわかるので、2クラスでも良かった。
- ・小規模校は本当にダメなのか。
- ・少人数教育をするのもいいのではないのか。
- ・小学校に中学部、中学校に小学部の設置や4・3・2制の検討など、前提から考えて欲しい。
- ・学校ごとの特色(地域性)を伸ばしてはどうか。
- ・規模や学校の数だけではなく、学校のあり方を考えるのも大事。
- ・地域に助けてもらったり、みんなで支える学校をつくってはどうか。
- ・もっと子どもたちが遊べる場所が欲しい。
- ・良い食材を食べて体力をつけて欲しい。
- ・環境の変化への対応を考えて欲しい。
- ・高砂方式と言われるような新しい学校のあり方にチャレンジしてはどうか。
- ・財政効率だけではなく、教育面やこどもを第一に考えて欲しい。
- ・国の示す適正規模は教育的観点ではなく、財政的な観点ではないか。世界的に小規模校が多い。
- ・教育予算が最低基準なのも問題ではないか。

【参加者から出た質問】

- Q.統廃合は国の基準か、アンケート調査結果か。また、国の基準は絶対に守らないといけないのか。
- A.国が公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引で、適正規模適正配置の標準を示している。今回のアンケート調査結果を参考にしながら、審議会で高砂市の方向性を出していく。
- Q.通学路の距離や安全性の観点から、通学区域に関係なく、どの学校でも選択できるような制度はあるのか。
- A.意見としては尊重したいが、通学区域を設けずに自由に学校を選択できるようにするには様々な検討すべき課題がある。

■ 2/25 北浜地域交流センター 7名参加

- ・大人になると学校に行くことがなくなる。
- ・子どもたちの意見を聞くのも大事。
- ・思っていたより子どもの数が減るんだと思った。
- ・子どもたちが地域に魅力がないと言っている。

【参加者から出た質問】

- Q.特別支援学級が増えている理由はなにか。
- A.保護者の意向が尊重されるため、地元の学校で支援学級を希望する人が増えたことと、判定検査を希望する保護者が以前より増加したことが考えられる。
- Q.学区を越えた越境通学を認めている学校はあるのか。
- A.隣接して小中一貫教育を行っている高砂小中学校への希望者は認めている。また、中学校は、指定する学校に希望する部活動がない場合、その部活動のある学校へ通学できる。
- Q.中学校部活動の地域移行はあるのか。
- A.現在、検討中である。令和7年度中にはその方向性を報告したいと考えている。
- Q.旧北浜幼稚園舎はどうなるのか。
- A.老朽化しており、学校施設の再編と併せて今後の方向性を検討していく。
- Q.20年後の児童生徒数の推計では、全校で減少しているのではなく増加している学校もある。
- A.40年間の全体傾向は減少している。



■ 2/27 市役所南庁舎 25名参加

- ・80年代から特別支援教育を実施しているのはすごい!
- ・高砂はムラ意識が強い。(地域コミュニティの形成)
- ・体育館の空調設置が進んでいるが、特別教室にも設置して欲しい。
- ・親の関心が低い。
- ・周知が足りていない。
- ・支援学級が増えている。
- ・近隣市でも同様の課題があるなら連携してもいいかも。
- ・通学中の事故や犯罪が心配。
- ・通学区域の変更のイメージが沸きにくい。
- ・将来、学校教育に使える財源の予想はしているのか。学校に求められるものが多いのではないのか。

【参加者から出た質問】

- Q.再編する上で、通学距離や通学区域の変更、学級数の増減は試算しているのか。
- A.これから検討していく。
- Q.教職員の負担軽減として、部活動の地域移行は考えているのか。
- A.現在、検討中である。令和7年度中にはその方向性を報告したいと考えている。
- Q.洋式トイレの設置状況はどのくらいか。
- A.全てのトイレが洋式化されているわけではなく、特別教室のみの校舎や一部の体育館で和式が残っている。
- Q.統廃合により支援学級が増え、本来、支援が必要な子どもが取りこぼされることが懸念される。支援学級の支援体制は十分か。
- A.支援学級は非常に増加しており、スクールアシスタントや介助員等の補助体制を増員しているが、まだまだ不十分なので調整を行っている。

高砂市の学校の現状とアンケート調査報告会



※参加申込時にいただいたご質問への回答や説明内容を掲載しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

○みんなで考える高砂市の新たな学校づくり～これからの学校のあり方を考えよう！～

みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

～これからの学校のあり方を考えよう！～【各対象からの意見】まとめ



適正規模 適正配置	児童	2～3クラスの回答が最も多く、「クラス替えができる」「みんなのことをよく知れる」という意見がある。
	生徒	4～5クラスの回答が最も多く、「新しい人間関係が築ける」「行事が盛り上がる」という意見がある。
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校は2～4クラス、中学校は4～6クラスが適している。単学級の場合、教員の業務量増加や相談相手の不足等の不安の声が挙げられた。</li> <li>小学校は4km・30分以内、中学校は6km・60分以内の回答が最も多い。通学時の安全面や体力面を考慮した対応策が必要との意見がある。</li> </ul>
	就学前職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校は2～3クラス、中学校は4～6クラスが適しているとの回答が最も多く、「クラス替えができ環境の変化がある」「多様な関わり方ができる」という意見がある。</li> <li>小学校は4km・30分以内、中学校は6km・60分以内の回答が最も多い。国の基準以上は安全面や熱中症へのリスクが高まることへの不安の声がある。また、中学生においては自転車の使用を前提とする意見が多かった。</li> </ul>
	市民	「財政効率・行政効率だけではなく、教育効果・教育観念の検証が必要」「クラス替えができないのは問題」という意見がある。
連続性のある 小中一貫教育	児童	「9年間同じ場所で過ごせる」「たくさんの人と関わっていい経験ができる」等の肯定的な意見がある一方で、「遊具や自由なスペースが狭くなる」「新しい友達ができずに飽きる」という意見もある。
	生徒	「9年間を見通したカリキュラムになるのはいい」「絆が深まり仲良く過ごせそう」等の肯定的な意見がある一方で、「環境が変わらず成長する機会や人間関係を築く機会が少なくなる」という意見もある。
	教職員	小中一貫教育の形態としては施設分離型・隣接型を望む声が多く、推進にあたっては担当者がほしいとの意見がある。
	就学前職員	就学前施設との関係において、施設併設型を望む声が多く、「連携が取りやすく互いを知る機会が増えることで就学への不安が和らぐ」という意見がある。
教職員の働く環境	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育業務に専念できる人員配置（専門員、委託等）を望む声がある。</li> <li>広く明るく快適で、休憩や打ち合わせができるスペース、更衣や収納などの設備が整い、通信環境（Wi-Fi・内線・校務用端末など）や空調も充実した安心して働ける職員室が望まれている。</li> </ul>
	市民	先生方が安心して働ける環境を整えることが子どもの充実した教育につながるという意見がある。
給食	児童	バイキングやピュッフェ形式、校内に食堂や売店の設置を望む声がある。
	生徒	食堂の設置や給食・弁当・学食を選べるようにしてほしいという意見に多くの票が集まった。
	教職員	給食事務の多さや栄養教諭の配置を望む声がある。また、給食方式については、小学校は自校式を継続したほうが良いという回答が最も多い。

みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

～これからの学校のあり方を考えよう！～【各対象からの意見】まとめ



プール	児童生徒	屋内プールや屋根付きプールの設置、プール授業の選択制も有りではないかという意見がある。
	教職員	プール授業や維持管理を民間委託できないかとの意見がある。
	市民	身を守るための術は身に付ける必要があるとの意見がある。
不登校支援 サポートルーム	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員の増員、サポートルームの役割や位置づけの検討が必要という意見がある。</li> <li>部屋を区切れるようパーテーション等の設置を望む意見もある。</li> </ul>
	就学前職員	子どもたちの居場所づくりについて、学校だけでなく、子ども園を含む地域での取り組みが必要になってくるとい意見がある。
	市民	「職員の専門性やスキルも大事ではないか」「オンライン授業を受けられないか」という意見がある。
特別支援教育	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者だけでなく、教師も相談できる窓口の設置を望む声がある。</li> <li>1クラスの上限を減らし、人員（介助員・コーディネーター等）の増員を望む意見も多い。</li> </ul>
	就学前職員	家庭・児童発達支援施設・子ども園・学校の連携がより必要になってくるとい意見がある。
	市民	人員の確保、必要に応じたシャワーやトイレの設置を望む意見があった。
家庭・地域連携	教職員	学校のできることが分りにくいので、コーディネーターの配置や地域とマッチングできる仕組みづくりを望む意見がある。
	就学前職員	地域全体で子どもたちを見守れる環境づくりを望む意見がある。
	市民	学校の統廃合により、地域コミュニティが弱体化するのではないかと不安の意見があった。
施設・設備・ 教育環境	児童	室内で遊んだりゴロゴロしたりできる場所など自由空間の確保、全教室にエアコンの設置、ロッカーの完備、トイレの洋式化などを望む意見があった。
	生徒	清潔で整った校舎や設備、居場所のある環境づくり、学びたいことを学べるように授業の選択制を望む意見があった。
	教職員	防犯カメラの設置や警察の常駐などによる安全安心の確保、新しい時代の学びが実施しやすいスペース、AIドリルやリモート授業の導入なども含めた学習環境の整備、空調や鍵の一括管理を望む意見があった。
	就学前職員	軽量タブレットなど学習機器の改善、暑さ対策の実施やスクールバスの導入、明るいトイレや多目的教室、地域や保護者と連携できるミーティングルームの整備など、教育・支援・生活環境を支える柔軟で充実した施設・設備の整備を望むといった意見があった。
	市民	防犯カメラの設置、スクールバスを導入した場合にはどのバスに乗りしているかわかるシステムの構築、トイレの改修、オンライン授業の実施などを望む意見があった。

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【教職員アンケート】まとめ

2025年5月30日～  
2025年6月15日

### ■ 1学年のクラス数【小学校】

【2～3クラス 102人】  
・クラス替えができ、学年間で相談しやすい  
・教職員の体制が安定し協力体制を取りやすい  
・学級数が多くなると、学年全体を見ることが難しくなり、指導が徹底しない  
・単学級を担当した先生は他の学年よりも負担が増える  
・教科担任制や担任交替制など効果的な教育編成が組め、児童の共通理解が取りやすい  
・きめ細やかな指導ができる  
・過去の勤務経験から、単学級より2クラス、2クラスより3クラスの方が学年としての活動の幅が広いと思うため  
・複数の教員で学年全体、子どもの様子などを見ることができ、  
・教師の連携が取りやすく、学年の意思疎通がしやすい  
・2～3学級あれば、毎年クラスの様子が変わり、いろんな教育現場の中で過ごすことができる  
・単学級ではクラス替えがないため、児童間の人間関係が固定してしまう  
・中学校は4クラス以上が適正だと考えられて、それに合わせて小学校も2クラス以上で、中学校へは2校以上が集まるのが良いと思う  
・人間関係に配慮したクラス替えができる  
・子どもたちの人間関係を踏まえたうえでクラス替えが可能になると、学年全体の児童を学年間でクラス替えを可能にしたり、人間関係を築いた集団づくり、複数教員の配置するために1学年2～3学級が望ましいと思う  
・きめ細かな指導をすること、人間関係の固定化を防ぐことの2つのことを考えたとき、3学級程度が適切だと考える  
・新たなつながり関係を築き、集団づくりができる  
・運動会や音楽会等の行事においても、集団での活動がしやすい  
・行事等を行っていくうえで、学校としての集団である良さや発揮できる規模であると思う  
・学級数が多いと、行休等にも運動場等で遊びにくいと思う

### 【その他 14人】

○2～4学級以上  
・学級における児童数が少ないほど、学級の安定や学習の保障がしやすいと考える  
○3～4学級  
・一人ひとりの子どもへ、必要な支援がしやすい  
・多様な人間関係の育みが期待できる  
・1学年複数教員の担任を配置することで、職務の分担ができる  
○その他  
・学級数を決めることよりも1学年あたり何名の児童がいるかが重要

### ■ 1学年のクラス数【中学校】

【4～6クラス 101人】  
・授業時間や評価の時間的な負担、校務分掌を考慮すると、4クラス以上が適正だと考える  
・3学級だと学年教職員が少なく、宿泊行事など影響が大きい  
・過去の勤務経験から、4～5クラスが適正だと思う  
・少ない人数で学習できることで、学習を苦手にする子どもたちに細かいサポートができる時間が確保できるから  
・4クラスであれば、5教科の担当も1人で学年の授業をおこなうことができる  
・国の標準より小さいと教職員の数が少なく、学校運営に支障が出る。大きいと教職員間の連携がとりにくくなる  
・4学級以下は、学年教師の人数が少なく、担任と教科担任の負担が大きくなる  
・クラス替えの際に人間関係を配慮しやすくなる  
・クラス替えを機に生徒一人ひとりとをとりあえることができない  
・思春期の生徒の目線からすると、話がでる先生を見つけない  
・生徒同士の学年担当の教師が多くなると、生徒は多様な価値観に触れることができ、教師はさまざまな視点で生徒一人ひとりとをとりあえることができるため、多面的に評価できる  
・オンライン授業だけではできないところを大事にしていきたい、このくらいの規模が必要である  
・行事等を行っていくうえで、学校としての集団である良さや発揮できる規模であると思う  
・行事等がクラス対抗ができたり、多くの集団の中で成長できる

### 【その他 15人】

○2～3学級  
・学年での動きが取りやすいから  
○6～8学級  
・人間関係によってクラスを離さなければいけない児童生徒がたくさんいる場合、選択制が多い方がいい  
○その他  
・学級数を決めることよりも1学年あたり何名の生徒がいるかが重要

### ■ 少人数学級の必要性

【必要(15人未満) 2人】  
・できるだけ少ない人数の方が目が行き渡る  
・少ない方が子ども一人ひとりに関わる時間が増える  
【必要(20人未満) 12人】  
・少ない人数で学習できることで、学習を苦手にする子どもたちに細かいサポートができる時間が確保できるから  
・少人数なことで家で家庭訪問や成績処理など担任の負担が押し寄せ、教務に十分な支障がでないため  
【必要(25人未満) 42人】  
・1クラスの人数を抑えることで、教師と子どもとの関わりが深くなる  
・一人ひとりの学習状況を丁寧に見たり、人数が多すぎると一部の子どもが隠れてしまったりも防げることができる  
・子どもたちが抱えている困りごとや保護者対応などにきめ細やかな対応ができ、教職員の精神的な負担が軽減される  
・教育的ニーズが必要な児童や家庭が増えている背景があり、35名では見れないことがある  
・あまり少なすぎると、男女比のバランスが取れない場合や、学級内で派閥が出来てしまったり孤立する子どもが増えるのではないかと考える  
【必要(30人未満) 43人】  
・集団としての活動を減らす、児童生徒の理解度や特性に合ったきめ細かな指導が可能になる  
・子どもの数が減ってきても、子どもが家庭の事情や特性を持っている子どもが年々増えているように思っており、子ども一人ひとりに向き合うことが難しく感じる場面があるため、教師が役割を与えたり、グループ活動がしやすい、教師もよりきめ細やかに一人ひとりと関わることができる  
・少なすぎると切磋琢磨して成長する機会になり、多すぎると個人が埋もれる可能性がある  
・学校の要求が複雑多岐化する中で、個に合ったきめ細かな指導を行え、スペースを考えた時に少ない人数の方が良い  
・人数が多すぎると担任だけでは個別の対応が難しくなるため

【必要(15人未満) 17人】  
・授業は少ない人数で行った方が効果的であると思うので、現在実施されている少人数授業の教科や学年を増やしてほしい  
・クラス内にある程度の人数がいれば、気が合ふ子を見つけてほしい  
・少ない人数だと話し合い、学習や人材確保の面では難しいと考える

### ■ 通学距離【小学校】

【4km以内 66人】  
・子どもの安全面、体力面を考えると4km以内が適当だと思う  
・距離だけの問題ではなく、歩きやすい道かどうか、交通量など、他の要素も絡むと思う  
・遠すぎると登下校だけでも疲弊してしまうことがあったり、距離が長くなればなるほど事故・事件に遭遇する危険性が増したり、夏場であれば熱中症になったりする可能性があるため  
・4kmに近い状況の場合は、スクールバス等の利用も検討する必要がある

### 【その他 50人】

○2km以内  
・児童の身体的・時間的な負担感が少なく、好ましいと教員から多く寄せられた  
○6km以内  
・家庭の都合で選べる余裕があったらいい  
■ 通学距離【中学校】  
【6km以内 93人】  
・自転車通学が認められているから  
・通学距離が長すぎると体力的・精神的にもしんどくなるから  
・6kmを超えると生徒の安全を確保しにくくなるため  
【その他 23人】  
○3km以内  
・荷物も軽いは限らないので、通学に時間がかかることは避けるべきだと思う  
・不審者やトラブルを避けるためにも通学に時間はできるだけかからない方がいい  
○4km以内  
・部活等で帰宅が遅くなった場合に不審者等に会う危険性が上がるため

### ■ 生徒の自転車通学の可否

【可能とすべき 50人】  
・部活が地域展開を見据え、学校から直接活動場所へ行く可能性のあるから  
・個人の判断で自転車の登下校を認めてもいいのではないかと考える  
・熱中症対策になる  
【可能とすべきではない 66人】  
・自転車通学が集中することで事故を誘発する可能性があるから  
・安全面、交通マナー、自転車置き場の確保に難があるため  
・近ければ自転車通学の必要はないと思う  
・通学マナーの徹底ができておらず難しいと思うが、環境が整えば可能とした方がいい

### ■ 通学時間【小学校】

【60分以内 51人】  
・長時間だと集中力、安全意識の低下、学習意欲の低下につながると思う  
・長すぎると安全面等の課題が考えられる  
【その他 65人】  
・災害時の保護者の迎えにあたっては、時間が少しでも短くなるのが望ましい  
・交通安全、不審者問題、熱中症や大雨などの問題が安全と関連する  
○40分以内  
・小学生の体力面と登下校時に熱中症のリスクを減らすため  
・30分以内が理想だが児童の歩く速さの校区が狭いと思うので、約40分

### ■ 通学時間【中学校】

【60分以内 71人】  
・中学生は体力もあり、適当だと思う  
・自転車の使用ができるようになり、距離との兼ね合いを考えるとそれくらいになる  
【その他 45人】  
○30分以内  
・30分以上は子どもたちの負担にもなるし、事故等の危険性も高まると思う  
・貴重な時間を通学に30分以上費やすのは生産的ではないから

### ■ 交通機関の利用検討

【小学校】  
【30分以上 97人】  
【その他 19人】  
・時間だけでなく、へき地や山道とか臨機応変に考える必要がある  
■ 交通機関の利用検討  
【中学校】  
【30分以上 97人】  
【その他 19人】  
・40分を過ぎると事故が心配になる  
・徒歩で40分、自転車で50分以上

小学校 73名  
中学校 43名が回答

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【教職員アンケート】まとめ

2025年5月30日～  
2025年6月15日

### ■ 小中一貫教育の形態

【義務教育学校 31人】  
一人の校長、一つの教職員組織の方が協議事項の際に意思が統一しやすいと思う  
・教育相談や特別な支援が一貫して行える  
・小学校と中学校で区切らず、年齢に合わせた活動ができることを考えたため  
【施設一体型 27人】  
施設が一つになっていることで交流もしやすく、現在より一層一貫して関わることができると、小学校と中学校で区切らなくても、同じ敷地内であれば児童生徒間の教師間コミュニケーションが取りやすいと思う、指導方針や支援体制の共有が期待できる  
・児童生徒にとって9年間を通した学びの意識が高まり、見通しを持って成長できる環境が整う  
【施設分離型・隣接型 58人】  
行事を同時に行うと本来一番活躍して自尊心が成長する小6の成長の場を奪ってしまうことになると思う  
・校舎が隣同士なら児童生徒も教師も交流がしやすく、校種の実情に応じた教育活動が行える  
・施設一体型だと体の大きな中学生と小学校1年生が一緒にいることになり、ケガ等も増えることが予想される  
・小中で指導重点項目や時期に違いがあり、療育合わせをする時間が必要だと感じる  
・施設一体型の方がコンパクトで良いと思うが、現実的にはある程度距離がある方がいい面が多いと思う

### ■ 小学校給食

【自校式の継続 68人】  
・調理風景が見え、子どもの感謝や興味を育てることができる  
・アレルギー対応、除去食対応がスムーズ  
・栄養士、調理員の力と連携が取りやすい  
【給食センター方式 2人】  
・アレルギー対応等が学校によって差がないほうが良い  
【その他 3人】  
・一番経済的なものがある  
【必要な設備・機能】  
・アレルギー対応のための設備  
・空調設備の設置  
・トイレの洋式化

### ■ 中学校給食の課題

・開始時間が限定されており、学校独自の教育課程を編成しづらい  
・アレルギー対応の負担が大きい

### ■ サポートルーム

【設置場所】  
・職員のみが居やすく、他の児童生徒からの距離の配慮ができる場所  
・校内の閑静な場所から近い場所、普通教室の前を通いやすい場所  
【空間(部屋)のあり方】  
・パーテーションなど可動式レイアウトが変えられるのが望ましい  
・教室に置けるよう居心地をよくなる  
・自分一人だけ考えたり過ごしたりできる場所と他の人と過ごす場所の両方の空間が必要  
【必要な設備・機能】  
・空調、絨毯、ソファ、可動棚、パーテーション、オンライン授業をできる設備、職員室と繋がる電話  
【その他】  
・サポートルームの運用や利用方法を明確にしてほしい

### ■ 特別支援学級

・1階またはエレベーターの近くで、遅れしやすい場所  
・交流学習と行き来しやすい場所  
・職員室や保健室の近くで、静かに落ち着いて過ごせる場所

### 【空間(部屋)のあり方】

・広い空間をパーテーション等で区切り、複数の学級がフレキシブルに活動できるような空間  
・障害種別に対応できるような空間  
・学級数を見越した拡張性・変容性のある部屋  
【必要な設備・機能】  
・エレベーター、空調、多機能トイレ、パーテーション、防音設備、シャワールーム、電子黒板  
・障害種別に応じた設備・機能  
【その他】  
・1学級の定員を8人以下にしたい

### ■ ICT環境のあり方

・敷地内全域(教室・体育館・運動場・屋外・中庭など)で定着して使えるWi-Fi環境  
・機器の不具合が多いため、予備機を常備し、故障時にもすぐ使えるようにしてほしい  
・電子黒板や壁掛け式、天井吊り式のプロジェクター・スクリーンを設置してほしい  
・セキュリティの強化、技術面・法律面の専門知識を持った支援体制の常駐  
・有学習ソフトの無償化  
・離れた場所でも教職員同士が連絡を取り合える仕組み

### ■ 教職員の働き方

【空間(部屋)のあり方】  
・休憩スペースや授業準備の作業用スペース  
・全体室に空調  
・職員が打合せや相談できるフリースペース  
・職員室の拡張、企業並みのフリースペース  
・更衣室やロッカー  
【環境】  
・明るく開放的な職員室  
・各教員を見渡せるような配置やユニバーサルデザインを取り入れた設計  
・修繕が必要な箇所はすぐ直してもらえる体制  
・壁がホワイトボードになっていて、いつでも書き込める環境  
【必要な設備・機能】  
・職員室と各教室を繋ぐ電話(校務用携帯等)  
・エレベーター、空調、ロッカー、プリンター、キーボード、大型モニター  
・ネット環境の確保  
・通学への防犯カメラや緊急通報装置の設置  
・オートロックまたは警備員の常駐  
【その他】  
・1人1人を確保して確実に休憩できるような勤務体制の整備  
・トイレの場所や教室移動しやすい環境を整えることで、教師の指導の負担が減る

### ■ 多様な学習形態

【空間(部屋)のあり方】  
・可動仕切りによる教室と廊下の一体的なスペース  
・2つの教室をつなげて合同授業が出来るように、拡張可能な教室  
・学びの形に合わせて形を変えることができる空間  
・グループ学習が余裕をもってできる広い教室  
・様々な学習用途で使える多目的スペースや小規模の部屋が複数あると良い  
・子どもたちの人数を確保し、一人ひとりの子どもが自分の学びを確立できる空間  
【必要な設備・機能】  
・プロジェクター、電子黒板、キャスター付きの折り畳み机、椅子、スクリーン、広いロッカー  
・演習室が兼用できるホワイトボード  
・演習室が出来る設備(投影の自動録画など)  
・取り出しやすいタブレット保管庫の設置  
・発表、協働活動で声の届きやすさを確保するための音響機器  
【その他】  
・職員室前に勉強できるスペース

### ■ 新しい時代の教育環境

・Wi-Fi環境を整備し、子どもたちが安心して自由にICTを活用できるようにする  
・自動開閉できる暗幕の設置  
・コワーキングスペースのような1人で学習に取り組める空間  
・リモートワーク、リモート授業ができる環境  
・専門的な人材の確保  
・教職員が新しい時代の学びにアクセスしやすい環境づくり  
・子どもが自ら学びやすい協働的な環境  
・教師が授業の準備を行うことができる勤務形態の確保(人員の増員やモノの適正配置など)  
・備品が増えているため普通教室はより広さが必要  
・新しい学びやICTの充実と単純に考えるのではなく、フィールドワークや地域交流、文化的継承、インクルーシブ教育の観点など多角的に児童生徒の学びを捉え、本当に必要なのは何か協議する必要がある

### ■ 地域団体に貸し出し可能

だと思部屋(3つ)  
・普通教室 5部屋  
・特別教室(理科室、音楽室、家庭科等) 21部屋  
・多目的教室 65部屋  
・図書室 68部屋  
・会議室 77部屋  
・なし 12部屋  
・その他 10部屋  
・コワーキングルーム、作業室 など

### ■ 地域住民と共有(開放)

できる部屋や機能  
・運動場、テニスコート、体育館、武道場、プール、図書室、家庭科室、調理室、和室、音楽室、会議室、作業室、駐車場、駐輪場  
・多目的室への文化センター・公民館活動・体験活動  
・福祉教育やキャリア教育で地域から講師を募集する機会を増やす  
・学校備品は学校優先で、貸し出しできるものは貸し出しして欲しいと思う  
・放課後学習やワークショップができる教室  
・職員室は共有開放するのには不安が残る  
・子どもの個人情報が見られないよう校舎・教室等に、外部の人が自由に入出入りできるように抵抗を感じる  
・共有する場合の安全管理が整っていれば共有は、開放されるのは嬉しい

### ■ 他機能と複合化する場合、望ましいと視する施設(3つ)

・地域交流センター等の市民文化施設 36票  
・子ども園や保育所等の子育て支援施設 45票  
・地域包括センターや保健センター等の保健福祉・医療施設 23票  
・サービスセンター等の行政施設 9票  
・保護者や地域住民が自由に使えるスペース 19票  
・スーパーやコンビニ等の商業施設 5票  
・機能別の複合化は望ましくはない 41票  
・その他 6票  
・交番、図書館 など

### ■ セキュリティ対策

・警備員(警備官)の常駐、セキュリティカメラの設置、オートロック機能や顔認証機能の導入  
・IDによる入室管理、シャッターの設置、鍵の電子化、校門での受付後に入場許可証の発行  
・出入口を分け、動線も別にする  
・個人情報の流出を防ぐため、第三者から見えない工夫が必要  
・共有する場合、利用空間を区切らなければ安全性は保たれない  
・子どもたちの学習空間に共有空間が物理的に離れていること  
・具体的にもどのように共有するかでセキュリティを含めた課題が色々と出てくると思うので、それらを総合的に考えた対策が必要

### ■ 地域とともにある学校

づくりの推進  
・地域からの意見を聞き上げ、できる限り実現したり、学校から地域に依頼を出したりして、相互の繋がりを積極的に作っていく必要がある  
・地域の人材に学校で行う教育活動の協力をお願いする  
・学校の教育活動に積極的に関与する地域住民等が参加する機会を増やす  
・地域の人材を活用した授業づくり  
・学校から、地域に対して、聞くことができる範囲を明確にしていくべきだと思う  
・学校という空間・施設を誰が使うか、どう管理するか問題  
・学校の取り組みの発信(めざす教育など)  
・地域住民や関係機関と積極的連携し、情報共有や意見交換の場を設けることで、地域の課題やニーズを把握しやすくなる  
・文化や体育大会等を地域にもう一度公開する方向で、少しずつ地域とともにある学校を進めるべき



# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【教頭会ワークショップ】まとめ

第1回2025年6月25日  
第2回2025年7月23日

### ■ 適正規模・適正配置

- 【クラス数】
  - 1クラスあたり25～35人が適正
  - 1クラスあたり40人は負担がかかる
  - 1学年2クラスでは、クラス分けが難しく負担も増える
  - 小学校は3～4クラスがクラス替えに適している
  - 中学校は4～5クラスがクラス替えに適している
  - 複数学級の方が複数の先生の目が届きやすい
  - 支援学級の児童の編成の見直しが必要
  - クラス数が減ると先生も減るが、仕事量は同じ
  - 単学級が増えると、学校運営が難しくなる
  - また、教員の業務量増加や孤立につながる(例:担任同士で相談できない等)
  - 小規模校の様子が見えなくなる
- 【地域からの意見】
  - 総合的な否定的ではない印象がある
  - 地域ごとで区切ることの不透明
  - 地場からの反響があることが予想される
- 【学校運営】
  - 小中一貫になると管理職はどうなるのか
  - そもそも管理職の人手が少ない
  - 学校規模で教員の業務量が異なる
  - 教員の業務負担が増えている
  - 20年先に高砂市の状況がどうなるか予想することが難しい
- 【通学】
  - 校区再編でスクールバスの運行は必要になってくる
  - 学校配置が市内でどのように進んでいくかが気になる
  - 通学時間は30分くらいまでで考えるべき
  - 通学時間が長くなると教員の対応時間が長くなる
  - 多角的、多面的に意見を集めた方がいい

### ■ 教育環境の整備

- 【安全安心の環境】
  - 来校者の対応のための警備員の配置を希望(防犯・安全のため)
  - 学校施設の施設方法の改良(校門オートロックやスマートロック化等)
  - 【その他】
    - 少人数教育に対応した設備配置
    - 広い校地の確保が望ましい
    - 職員室の機器が学校によって異なる
    - カギをマスターにし、どこでも一本の鍵で開けたい
    - 更衣室が必要
    - 自動録音機能のある固定電話を希望

### ■ 教職員の働く環境

- 【教員の仕事かどうか】
  - 不登校生が多いため、支援員が足りない
  - 支援員が不在の場合、サポートルームの運営に支障が出る可能性がある
  - 元管理職や元支援学級担当が任用され、こうした経験者が大きな支えになっている
  - 拠点に心理士など有資格者の配置を希望
  - SSWやSCの拠点にできる
  - 不登校支援員の業務と家庭がすべここの線引きが難しい(朝起こす等)
  - 正規職員が必要
  - 担当する生徒が多い学校では、支援員1人では足りない
  - 支援員の専門性を高める研修が必要
  - 担任と支援員との連携方法が学校で異なる
- 【サポートルームの必要性】
  - 事務職員のサポートが必要
  - 各校にSSW・ドクター・支援員などが必要
  - 就学援助事務のサポートが必要
  - 水泳の授業やプールの管理は委託できない
  - 教頭補佐の人員確保
- 【部活】
  - 中学校の部活動指導の負担が大きい
- 【広報誌】
  - ホームページに載せるPTA広報誌の意義を再確認し、持続させるかどうかの議論が必要
- 【業務量】
  - 業務量が多岐にわたる、処理すべき文書量が多く、提出や報告の締め切り追われる
  - 教師の確保が極めて難しい状況
  - 教師1人が担当する授業が多すぎると、十分な授業準備のための時間確保が難しい
  - 教師の確保は減っても業務は変わらない
  - 副担任の配置必須
  - 副担任に慣れていない教員が増えた
  - 文書量が多く、その処理に追われる
  - 教員数に比べて情報機器が少ないため、作業効率が悪い

### ■ サポートルーム

- 【予算や設備】
  - 環境整備(人数増)
  - サポートルームの環境を良くすると、教室に戻りにくいという弊害がある
  - 利用することの人数に比べて部屋が狭い
  - カーペット、円卓などゆったりできるスペースが必要
  - パーソナルスペースと共有スペースの確保
- 【利用のルール】
  - サポートルームの役割や位置付けの検討が必要
  - 人間関係に疲れた子が、サポートルームでも同様の状態になる場合がある
  - 複数部屋の設置
  - 本来の目的とは異なる理由で利用しようとする場合もある
  - 利用者が増えた時にどう対応するのか、また、どんな子が対象になるかなど、まだまだ手探り中

### ■ 地域とともにある学校

- 【目的は何?】
  - 目指すべき学校の具体像が分からない
  - 学校のできることでの明確化
- 【社会教育・コーディネーター】
  - コーディネーターが必要
  - 人材(バックアップ)が必要
  - 青少年育成協議会の活動場所の確保
  - 地域学校協働活動推進員の配置
  - 活動をサポートする教員の配置が必要
  - 地域との調整を教頭でやり続けるのは限界がある
  - 地域とのつながりを持ちたいが、ネットワークが不足しているため、双方をマッチングしてくれる仕組みがほしい
  - 学校内にコミセンの機能があればよい
- 【PTA】
  - PTAに本当に必要なか検討する時期に来ている
  - PTAに交えられていることが多いが、その分、関連業務はかなり多い
- 【保護者対応】
  - 保護者・地域への対応に時間を多く割いて、業務を圧迫している
  - 効果的だが多いので、専用の窓口が導入されたい
- 【学校の負担】
  - 学校の負担・業務量が増加する
  - 1つの学校だけではない地域連携では十分な活動を確保していくことが困難
  - 地域行事への参加が常態化が懸念される
  - 担当教員や学級担任の負担、責任が増える
  - 管理職の負担増、進捗状況が思わしくない
- 【関係団体が多い】
  - ほとんど同じ人で構成されている関係団体が多い
- 【校区内で連携】
  - 中学校区で連携したい
  - 1つの学校だけではない地域連携では十分な活動を確保していくことが困難
  - 小中の連携が重要
- 【その他】
  - 家庭科の実習へのサポートは助かる(ミシヤ調理実習等)
  - 現状でも十分な活動は実施できている
  - 夏まつりの負担が大きい

### ■ 特別支援学級

- 【支援員や専門ノウハウ】
  - 支援学級をサポートする教師を多くしてほしい(SSW・ドクター・支援員等)
  - 指導する側の専門性がさらに必要になると思う
  - 教員の専門知識や技術が不十分
  - 介助員を今よりも多く配置してほしい
  - 各校に最低1人は通級の担当がほしい
  - 1人のコーディネーターでは多くの課題に対応するのが難しくなっているため、複数人配置してほしい
  - 支援学級の児童生徒数が増え、教師・教室が不足している
  - 通級へのニーズが高まっている
  - 職員の専門性が問われている
- 【人数】
  - 支援学級の在籍人数上限8人の是非
  - 支援学級の1校あたりのことこの数の上限設定が必要
- 【通学学級・交流学級】
  - 普通学級と交流学級との授業時間調整が難しい
  - 支援学級と交流学級を教室の位置が離れている場合がある
  - インクルーシブ教育を重視した支援学級のあり方
- 【相談機能】
  - 教師も親も相談できるような専門的な相談窓口が必要
- 【その他】
  - 個人に応じた環境設備が必要
  - 児童学園併設の支援学級設置

### ■ 小中一貫教育

- 【その他】
  - 場所や環境等の整備の必要性
  - 施設(普通学級)へ戻すための支援につなげることが難しい
  - 保護者との連携が重要
  - サポートルームができて良かった
  - 今でも入室への要望が多いが、今後増えていくことが予想されるため、対応を検討する必要がある

### ■ 学校給食

- 【給食費・給食事務】
  - 給食費の無償化の是非
  - 給食事務による事務の多忙(管理職)
  - 事務補助の職員不足
- 【栄養教諭】
  - 栄養教諭の配置を望むが、なかなか配置してもらえない
  - 栄養教諭は小規模校こそしてほしい
  - 食育の充実がより図れることを期待したい
- 【給食】
  - 給食の質の向上
  - 小学校では自校式のため、給食の味が学校によって違う
  - 小学校は自校式、中学校はセンター方式で運用しているが今後どうなるのか

### ■ 小中一貫教育

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 1学年1クラスはどう?

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 1学年に何クラスあると良い?

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ どこでなにをする?

- 【休みの時間】
  - 運動場・中庭
  - ドッジボールや鬼ごっこ(他クラスの子ども)
  - 鉄棒、うんてい、総合遊具、タイヤ、ジャングルジム
  - 図書室・廊下
  - 雨の日にはトランプやカードゲーム
  - 図書室で読書
  - 談笑(他クラスの子も)
  - 絵やイラストを描く
  - まったり過ごす
  - タブレット勉強
  - ゲームで遊んでいる
  - 1年生のころには行っていた
  - 先生が弾くギターを聴いている
  - 先生に悩み相談をする
  - ダンスや折り紙
  - 新聞を読む
- 【その他】
  - ニコニコ学級へ行く
  - 憩いスペースで談笑
- 【放課後】
  - 学校・公園・地域
  - ドッジボール、バドミントン、鬼ごっこ
  - 野球、サッカー
  - 宿題
  - ザリガニ釣り
  - 談笑
  - 家(自分・友達)
  - 宿題を自分でゲームや家事の手伝い
  - 親に一日の出来事を話す
  - 漫画、ゲーム、テレビ
  - 勉強
  - 絵を描く
  - 談笑
  - その他
  - 習い事
  - 動画撮影
  - 犬の散歩
  - 学習
  - 地域交流センターで勉強や談笑

### ■ 小中一貫はどう思う?

- 【肯定的】
  - 仲の良い先輩と会える
  - 小学校の先生と会える
  - 先輩が注意してくれる
  - 校舎が一緒だと中学生になる不安がなくなる
  - 中学生と関わるのは楽しそう
  - 休み時間に色々な人と会える
  - たくさんの人と関わっている経験ができる
  - 高校受験の時期に小学生がうるさくて邪魔になる
  - 9年間、同じ場所で過ごせる
  - 土地が少なくて済む
  - 相談相手が増えていい
  - 見本となる中学生がいる
  - 勉強を教えてもらえる
- 【否定的】
  - 中学生と一緒に遊ぶのは嫌
  - 入学式や卒業式がなくなるのは嫌
  - 9年間メンバーが変わらないのは嫌
  - 教室の数が減ってやがてこい
  - 先生の負担が大きくなる
  - 大勢が同じ敷地に集まるのは危ない
  - 遊具や自由なスペースが狭くなる
  - ルールを守らない中学生がいたら授業が心配
  - 新しい友達ができなくなる
  - わくわく感がない
  - 色々な人と出たいから別がいい
  - バシラれるのが怖い
  - 人数が多いのは嫌
  - いじめや喧嘩が増えそう
  - 中学生と一緒に通学するのは危ない
  - 中学生になったという実感がなくなる
  - ルールが違うから一緒にするのは嫌
- 【その他】
  - 安全面の課題はあるが、低学年ほど自転車通学をさせてあげたい
  - 行事は別々でいい
  - 憩いスペース等良いところは残してほしい
  - 運動場は別々にしてほしい
  - 上下関係が気になる

### ■ 新しい学校をつくるなら?

- 【学校の環境】
  - ゲームやテレビを楽しめる部屋、ホールや室内遊具、防音の部屋、体育館で自由に遊べる、人工芝のグラウンド、室内プールや足湯などの設備、エレクトロニックの完備、クッション付き椅子、ラフラルで明るい校舎、広い教室、ごろごろできるスペース、パリアフリーを意識
- 【給食・食事】
  - バイキング・buffet形式の給食、健康的でメニューもできるメニュー、学校の中心食堂や売店・コンビニを作る、野菜を育てて給食に使う、お腹がすいた時ににぎりに買える
- 【学び】
  - 好きな授業や先生を選べる、興味があることができる学校、宿題なし、時間割を自分で決められる、本がたくさんあって取り寄せもできる図書館、タブレットやスマホを活用した学習、選択制・小中一貫・小中高一貫などの新しい仕組み、放課後に先生に教えてもらえる環境
- 【交流・つながり】
  - 他のクラスや学年と交流できる場所、他校とオンラインでゲーム対戦(eスポーツ)、子ども園や地域の人と交流できる仕組み、子ども意見学校づくりに取り入れる
- 【安全・安心】
  - 地震や津波に強い校舎、雨漏りしない建物、防犯カメラや監視カメラの連絡など安心な仕組み、いじめや差別のない学校、きれいで使いやすいトイレ(洋式化)、緑が多くて気持ちよい環境
- 【その他】
  - 【楽しみイベント】
    - クリスマスやハロウィンなど楽しい行事、保護者も参加できるイベント、宿泊できる学校、運動会やイベントをもっと増やす

### ■ 2～3クラス 2人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 3～4クラス 4人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう



みんなの学校づくり

(発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【児童ヒアリング】まとめ

2025年6月24日～  
2025年7月10日

### ■ 1学年1クラスはどう?

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 1学年に何クラスあると良い?

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 2～3クラス 2人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 3～4クラス 4人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 1学年に何クラスあると良い?

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 2～3クラス 2人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 3～4クラス 4人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れられない
  - 良いこと悪いことこの両方ある
  - 1クラス20人くらいが良い
  - 1クラス34人くらいが良い
  - 団結力は高まるが、教室がうるさくなりそう

### ■ 4～5クラス 8人

- 【肯定的】
  - みんなと仲良くなれる
  - 友達とずっと一緒にいるのはいい
  - みんなと距離が近くなる
  - クラス替えがないから、喧嘩しても仲直りしやすい
  - 先生がたくさんの人数をまとめるのは大変そう
  - 気の合う子と仲を深められる
  - クラス替えがないのは平和
  - 仲の良い子と一緒にいられる
  - 実際、1クラスでも過こすと良かった
  - クラス内の仲の良さで深まる
  - 友達や知り合いが面も知ることができる
  - 上下関係がなくなりそう
  - クラス内で話し合える
  - 一人ひとりの個性がよくわかる
  - コミュニケーションが取りやすい
- 【否定的】
  - 新しい友達ができないのは寂しい
  - 運動会で異学年と競うことになる
  - 人数が少ないのは嫌
  - クラス替えのドキドキ感がない
  - いろんな環境で勉強できなくなるのは嫌
  - 行事の時に分かれるのがかたがたしい
  - 友達や知り合いが多い方が楽しい
  - 嫌な子と一緒にしてしまう
  - 色々な人と関わらなくなる
  - 将来のために人が多い環境に慣れていた方がいい
  - クラスはいっぱいあった方がいい
  - 友達が減ってしまう
  - 面白くない
  - 同じような意見ばかりになる
  - 6年間同じメンバーで過ごすのは学校のイメージが壊れる
  - 様々なメンバーで過ごす方がクラスの特徴が出る
  - いじめがあった場合に気まずくなる
- 【その他】
  - 仲の良い子と一緒にいられるのは嬉しいけど、苦々な子と離れ

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

～これからの学校のあり方を考えよう！～【生徒アンケート】まとめ

2025年7月16日～

2025年7月25日

## ■ 1学年1クラスはどう？

(1クラス25～30人)

### 【肯定的】

- ・まとまりやすいと思う
- ・みんなと仲良くなれる
- ・行事で協力し合える
- ・学年の仲が深まる
- ・コミュニケーションが取りやすく団結力が生まれる
- ・先生の負担が減り、一人ひとりに目が届く
- ・先生のサポートが丁寧になる
- ・友達が増える
- ・多すぎると揉め事が増える
- ・一人ひとりの意見をしっかりと聞ける

### 【否定的】

- ・人数が少ない(交友関係が狭い)
- ・人間関係が固定化する
- ・教室が狭くなる
- ・クラス替えがない
- ・色々な人とコミュニケーションがとれない
- ・いじめや喧嘩したときにグループが分らないと精神的にしんどい
- ・行事等でクラス対抗ができない
- ・行事が盛り上がりがない
- ・いじめが酷くなると思う
- ・様々な考え方が出ない
- ・新しい人との関わり方が身につかない
- ・勉強で切磋琢磨できない
- ・友達が多いほうがいい

### 【その他】

- ・1クラスの人数はもう少し多い方がいい

## ■ 1学年に何クラスあると良い？

【1クラス 0人】

- ・今が2クラスで、それ以上を想像しにくい
- ・多すぎるとクラスが違う友達との時間がなくなる
- ・ほとんどの人と同じクラスになり、仲良くなる
- ・クラス替えができるし行事でも競える

【3クラス 9人】

- ・色々な人とコミュニケーションを取れる
- ・多すぎず少なすぎないから
- ・ちょうどいい
- ・2クラス以下は面白くないし、4クラス以上はまとまりにくい
- ・多すぎると一人ひとりが活躍する場が減ってしまう

【4クラス 23人】

- ・行事が盛り上がる
- ・色々な人と関われる
- ・新しい人間関係を築ける
- ・クラス替えができる
- ・偶数なら分かれやすいから
- ・クラス対抗がしやすい
- ・ちょうどいい
- ・学年が盛り上がる

【5クラス 13人】

- ・行事が盛り上がる
- ・人数が多すぎると勉強に集中しにくい、25～30人で5クラスならいい
- ・たくさんの人と関われる
- ・競争意識が芽生える
- ・友達がいっぱいできる
- ・6クラスは多すぎる

【その他 3人】

- ・多ければ多いほどクラス替えが楽しい
- ・クラス数はほとんど気にならない

## ■ どこでなににする？

【休み時間】

- 教室・廊下
- 授業の復習や次の授業の準備
- ・勉強
- ・友達と話す
- ・読書
- ・絵を描く

○その他

・教室の移動

【放課後】

- 学校・公共施設・商業施設
- ・部活動
- ・友達で遊ぶ

○家(自分・友達)

- ・宿題や勉強
- ・漫画や読書
- ・ゲーム
- ・家事
- ・就寝
- ・携帯で動画視聴

○その他

- ・塾
- ・習い

## ■ 小中一緒はどう思う？

【肯定的】

- ・絆が深まり、仲良く過ごせていい学校にできそう
- ・小中学生の関わりが増えて面白そう
- ・義務教育学校でしか学べないこともある
- ・小学生からしたら将来のイメージがしやすい
- ・礼儀が身につく
- ・人数が少なければ一緒にしたほうがいい
- ・多様性に配慮する時代なので、特徴的な学校があってもいい
- ・いろいろな人と関われる
- ・友達とずっと一緒だから安心
- ・9年間を見通したカリキュラムになるのはいい
- ・仲良くなる人が増えて、学校の雰囲気も良くなる

【否定的】

- ・互いに小学生はうるさい、中学生は怖いと思ってしまう
- ・行事で力の差ができてしまう
- ・学年が離れているので問題が起こる
- ・“進学”がなくなる
- ・環境が変わらず成長する機会や人間関係を築く機会が少なくなる
- ・中学生になったという自覚がなくなる
- ・別々だからできた思い出や成長がある
- ・環境の変化は経験しておくべき
- ・揉め事になる
- ・新鮮味がなくなる
- ・小学校は小学校、中学校は中学校だけのほうが好き

【その他】

- ・小学校と交流することは大事だと思うが、敷地が別でもできる
- ・修学旅行が1回になるの心配...

## ■ 新しい学校をつくるなら？

【安全・安心で過ごしやすい学校】

- 熱中症対策の徹底、バリアフリー設備、清潔で整った校舎・設備、生徒も先生も快適に過ごせる環境

【人間関係が良い学校】

- 先生と生徒の距離が近い、いじめをすぐに発見・対応できる、生徒同士が仲良く学年を越えて交流できる、お互いを尊重し合える平和な雰囲気

【学びやすく理解を深められる学校】

- 苦手な科目を克服する学習、塾に行かなくても学べる学習、オンライン授業の導入(学校に来られない子も学べる)、社会性や将来に役立つ力を育む授業、専門教科に特化した育成コース

【生徒の声が反映される学校】

- 生徒の意見を尊重し学校運営に反映、先生と生徒と一緒に決める仕組み、生徒会活動や公約を通して実現できる学校づくり、「みんなの意見が通る」採用される学校

【学校生活】

- 行事の充実(運動系以外も楽しめる)、部活動を大切にしたい学校(先生の思いも尊重)、勉強と遊びのメリハリ、笑顔で楽しく過ごせる雰囲気、食堂や休憩スペース、自由ルールなど居場所のある環境、美味しい給食

【個性や多様性を大切にしたい学校】

- 一人ひとりの個性を尊重、芸術・スポーツ・学問など多様なコース設定、髪型自由など校則の工夫、他国の文化や人との交流ができる国際的な環境

→各中学校の生徒会役員が集まる、いきいき生徒会でも意見をまとめています。

その結果は、別途まとめていますので、そちらもご覧ください。

57名が回答

(発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp



# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

～これからの学校のあり方を考えよう！～【いきいき生徒会】まとめ

2025年8月5日

わたしが新しい学校をつくるならこうしたい3つのこと

各学校から2つ「これが一番大事！」を出し、参加者で投票しました。

## ■ 高砂中学校

- Aさん
- 1 行って楽しいと思えるような学校を作りたい
  - 2 みんなが仲良くできる
  - 3 相談しやすい

Bさん

- 1 みんなが楽しく過ごせる
- 2 したいことができる
- 3 リフレッシュする場所がある

Cさん

- 1 多様性を認めてくれる
- 2 仲が良く、協力し合える
- 3 意味のある意見が通る

Dさん

- 1 やりたいことができる
- 2 のんびりできる
- 3 行事が多い
- 4 それぞれのペースにあった学び方ができ、楽しいと思える学校
- 5 多様性を認め、相談しやすい学校

Eさん

- 1 楽しいと思える学校
- 2 それぞれにあったペースや学び方で学べる学校
- 3 過ごしやすい学校

## ■ 松陽中学校

- Aさん
- 1 団結力が高くて、行事が盛り上がる
  - 2 みんなが楽しいと思える

Bさん

- 1 行事は全員が楽しめる
- 2 1人1人の学力に合った勉強ができる
- 3 自分のなりたい将来に向けた勉強ができる

Cさん

- 1 自由にできる
- 2 センティーンアイスがある
- 3 勉強できる所と、ゆっくりできる所がある

Dさん

- 1 1人1人がやりたい事できる
- 2 ゲームがいろいろある
- 3 勉強道具が充実している

Eさん

- 1 エアコン
- 2 楽しい
- 3 給食有り

## ■ 荒井中学校

- Aさん
- 1 部活動の顧問を持ちたい
  - 2 先生ばかりを集めて、スポーツ校を作る
  - 3 部活動をやりたい生徒を集める

Bさん

- 1 自分のやりたいことを尊重してくれる学校
- 2 昼食が給食じゃなくてもいい学校
- 3 行事が多い学校

Cさん

- 1 行事がいっぱいある学校
- 2 自分の意見を出せる、聞いてもらえる学校
- 3 自分ですることややりたい事を決められる学校

Dさん

- 1 給食だけじゃなくて、弁当の日が欲しい
- 2 美術室や音楽室、武道場などに冷房をつけて欲しい
- 3 宿題なし

Eさん

- 1 休み時間が長い
- 2 わからないところをしっかりと教えてくれる
- 3 先輩や後輩ともっと関わりたい

## ■ 竜山中学校

- Aさん
- 1 1学年で仲が良い学校
  - 2 髪や髪が結縛自由な学校

Bさん

- 1 部活の種類が多い
- 2 通学時間が短い
- 3 学年関係なく仲良くなれる

Cさん

- 1 土地を広くしたい
- 2 先生と生徒も仲良くできるようにしたい
- 3 生徒たちの自由を増やしたい

Dさん

- 1 全ての教室などにエアコン設置
- 2 いじめのない学校
- 3 みんなの仲が良い学校

Eさん

- 1 自分がしたい授業が受けれる(時間割りを決めれる:6時間目まで体育でも良い)
- 2 最低限校則がゆるい学校
- 3 行事が多い学校
- 4 登校時間が遅い(8時半～9時前)

## ■ 鹿島中学校

- Aさん
- 1 そうじしなくても汚れないきれいな校舎
  - 2 教室の前に室内の遊べる広場
  - 3 静かに眠れる部屋

Bさん

- 1 校舎がきれいな学校
- 2 校則がゆるい
- 3 行事が多い(楽しい)

Cさん

- 1 校則のゆるい
- 2 自由の時間がある
- 3 昼の後の自由タイム

Dさん

- 1 校則がゆるい
- 2 トイレがきれい
- 3 やりたい事がなんでもできる(行事の時とか)

Eさん

- 1 校則がゆるい学校
- 2 校舎がきれい！！
- 3 お昼寝タイムがある！！

30名参加

1位:給食・弁当・学食を選ぶ(9票)

2位:自分に合うレベルの授業を選択できる(5票)

3位:自分のなりたい将来に向けた勉強ができる(4票)

食堂(4票)

5位:お昼寝タイムがある(3票)

それぞれのペースにあった学び方ができ、楽しいと思える学校(3票)

7位:最低限、校則が緩い学校(1票)  
(例)髪の毛の色は茶色まで 等

【その他】

- ・校則がゆるい
- ・1人1人の個性を尊重でき、無駄な規制のないルールがある
- ・多様性を認め、相談しやすい学校
- ・自分が受けたい授業を受けれる

(例)必要な授業数を受ければ時間割り変更あり

- ・部活動の顧問を持ちたい先生、やりたい生徒を集めて強化部を作る

→多様性や個性を尊重し、自分で選択できることを望んでいる



(発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【こどもワークショップ】まとめ

2025年8月23日

### ■今の学校について語ろう【良いところ】

- グループ①(向島)**
- ・プール(水泳)授業の期間が短い
  - ・電子黒板がわかりやすい
  - ・PCを使っている
  - ・知っている方が進学路にいるから安心
  - ・登校の集まる所が10秒
- グループ②(浜風)**
- ・学校から田んぼが見える
  - ・登校の集合所から直線まで学校に着くから不審者がいても平気
  - ・運動場が高砂市内で一番大きい
  - ・見守りの人と仲良くできる
  - ・やっぱ一か返ってくる
  - ・体育館にクーラーが設置された
  - ・裏庭が綺麗に整備されている
  - ・校区内にコンビニがある
  - ・運動場に木があるから休憩できる
  - ・音楽室にクーラーがあって涼しい

- グループ③(市ノ池)**
- ・学校から家までが近い
  - ・小学校の頃は家から学校がすぐ近かった(5秒)
  - ・牧歌的
  - ・水の音が聞こえる
  - ・体育館にエアコンが設置された
  - ・外壁が綺麗になって、校舎が綺麗になっている
  - ・最近雑草を刈っている
  - ・生き物がいっぱいいる(トンボなど)
  - ・足腰が鍛えられる

### ■今の学校について語ろう【困っているところ】

- グループ①(向島)**
- ・歩いて25分の通学がきつい
  - ・道の角で他の班とたまにぶつかる
  - ・学校の時間のプールの授業が短い
  - ・図書室や図工室にエアコンがないから暑い
  - ・おやつタイムがない
  - ・料理が冷めない
  - ・階段が長い
  - ・プールの水がぬるい
  - ・青信号が短い場所がある
  - ・教室が遠いからエレベーターが欲しい
- グループ②(浜風)**
- ・掃除をしてもホコリが舞う
  - ・横断歩道で車が止まらないことがある
  - ・車が多くて危険
  - ・班長は太宰
  - ・学校から家まで遠いから放課後と一緒に帰る人がいない
  - ・恋バナが出来る
  - ・図書室、家庭科室、図工室にエアコンがないから夏は暑い
  - ・熱中症警戒アラートで遊べない
  - ・教室が暑い
  - ・見守りの人がいない
  - ・通学時間が長くて遅刻しそうになる(40分)
  - ・トイレが綺麗なおとこも汚いところがある
  - ・トイレが汚いので低学年がトイレに行かない
  - ・学校のベンチが古すぎて使えない
  - ・登校の集合場所まで歩いて多岐でも角も多い

- グループ③(市ノ池)**
- ・洗車の水がかかったことある
  - ・ゴミ屋敷が途中にある
  - ・通学路が高校生も通るので人口密度が高い
  - ・ジャンボタクシーの乗が多すぎる
  - ・中学校までが遠い(15分)
  - ・鳥の糞がいっぱいある
  - ・へびがいたり
  - ・下駄箱から1年生の教室まで
  - ・一部のトイレが臭い
  - ・トラックが怖い
  - ・近くの場所がうるさい
  - ・学校にお金を持っていく
  - ・学校にアイスの自動販売機がほしい
  - ・外の部活が暑いので屋根とエアコンをつけてほしい
  - ・昼休みが欲しい(20分くらい)
  - ・体育で使う物が全部古い
  - ・古い方の校舎にエアコンを設置してほしい
  - ・壁がぼろぼろになっている
  - ・学校にトラックが来るからうるさいところがある
  - ・教室の床が割れていて、危ない
  - ・エレベーターがほしい
  - ・タブレットの数が少ないから故障してしまっただけは時期使えなくて差が出てくる
  - ・勉強を教えてもらってもみんなわかっていない

### ■未来の学校をつくらう

	グループ①(向島)	グループ②(浜風)	グループ③(市ノ池)
授業・学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題をなくす(音読など)</li> <li>・バーチャル授業がほしい</li> <li>・問題を1問解くと100円ゲット</li> <li>・授業をオンラインで受けれる</li> <li>・子どもだけじゃなく大人も授業を受けたい</li> <li>・地域のひとと授業を受けたい</li> <li>・他の学校の先生の授業を受けられる</li> <li>・少人数で受けれる授業があればいい</li> <li>・毎日知識授業がいい</li> <li>・創造性授業をしたい</li> <li>・プールの授業をする・しなを選択できる</li> <li>・1日中プールの授業をしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ごとに先生の指名制</li> <li>・プログラミングやファッションの授業を受けたい</li> <li>・外国のひとと交流できる授業をしたい</li> <li>・何かの体験授業がしたい(陶芸・少林寺拳法など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングや税金、仕事、日本の文化で学ぶ授業</li> <li>・インターネットトラブルについての授業がほしい</li> <li>・授業でYouTubeを使う</li> <li>・外国のひとと交流したい</li> <li>・何かの体験授業がしたい(陶芸・少林寺拳法など)</li> <li>・先生が口癖も面白い</li> </ul>
施設・環境・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の隣に遊園地やゲームセンターを誘致</li> <li>・プールを屋内にする</li> <li>・プールを広くする</li> <li>・図書室にエアコン設置</li> <li>・ちいわ、コナンくん、ハンターハンター、ブラザージャック、ゲーム部屋を追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用昇り台がある</li> <li>・校庭にジップラインを作してほしい</li> <li>・体育館にトラポッドがほしい</li> <li>・全室にエアコン設置</li> <li>・屋根付きのプールがほしい</li> <li>・プールやトイレを綺麗にしてほしい</li> <li>・トイレの便座を暖かくしてほしい</li> <li>・オアシスメントをほしい</li> <li>・机の横にミニゴミ箱を設置</li> <li>・学校に警備員がほしい</li> <li>・体育館で遊ぶようになりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い所を新しくしてほしい</li> <li>・古い校舎にエアコン設置</li> <li>・エレベーターがほしい</li> <li>・備品を新しくしてほしい</li> <li>・トイレの和式を洋式してほしい</li> <li>・公衆電話を設置してほしい</li> <li>・浄水器の水をお茶にしてほしい</li> <li>・図書室に猫がほしい</li> <li>・屋内でフェノコがほしい</li> <li>・学校に警備員がほしい</li> <li>・部活ごとに練習場所がほしい</li> </ul>
学校のルール・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・髪を染める、スマホやゲームの持ち込みOK</li> <li>・私服のときは名札なし</li> <li>・校舎は自転車で行きたい</li> <li>・学校から勝手に帰っていい</li> <li>・授業の時間がほしい</li> <li>・図書室で1回15分まで借りれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分前にチャイムが鳴るようにしたい</li> <li>・少し遅る時間をほしい</li> <li>・小・中一緒にしてほしい</li> <li>・クラブ活動を6年から決めるのをやめてほしい</li> <li>・職員室をもう少し入りやすい雰囲気にしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学がいい</li> <li>・学校にお金を持っていく</li> <li>・図書室に行く時間を作りたい</li> <li>・中間や期末休みがほしい(約25分)</li> <li>・学校は午前までほしい</li> </ul>
給食・食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュースが飲み放題</li> <li>・料理とデザートを食べるようにしてほしい</li> <li>・デザートの種類を増やしてほしい</li> <li>・パンキング形式でデザート10種類以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランの料理を出してほしい</li> <li>・夏はかき氷を出してほしい</li> <li>・スイーツを出してほしい</li> <li>・外国の有名な食事を出してほしい</li> <li>・果物を出してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マクドを出してほしい</li> <li>・校庭にエアコン・O-S1が入っている冷風庫がほしい</li> <li>・アース屋さんほしい</li> <li>・自動販売機を設置してほしい</li> <li>・中学校給食の味がほしい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動で剣道がほしい</li> <li>・掃除は掃除機とモップでやるか清掃の人間に任せてほしい</li> <li>・バドミントンやテニスができるようにしてほしい</li> <li>・音楽室を自由に使える</li> <li>・図書室の本を増やしてほしい</li> <li>・コナンくんの漫画を図書室に置く</li> <li>・子どもにも自由!</li> <li>・キャラクターグッズもほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動、委員会を自分たちで作りたい(ゴミ拾いクラブ、スポーツ委員会など)</li> <li>・1年に一回以上全校生で遊びたい</li> <li>・次者より上回っているものにして欲しい</li> <li>・トイレ掃除の時に洗剤がほしい</li> <li>・通学路には信号がいっぱいあった方がいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学がいい</li> <li>・学校にお金を持っていく</li> <li>・図書室に行く時間を作りたい</li> <li>・中間や期末休みがほしい(約25分)</li> <li>・学校は午前までほしい</li> </ul>

10名参加 (発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp



# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【就学前職員アンケート】まとめ

2025年9月3日～

2025年9月24日

### ■小中学校の適正規模

- 適正配置に対する考え方**
- ・こどもたちの学習環境や多様な活動機会の確保のために一定規模の規模が必要である
  - ・68人
  - ・学校が広がることにより地域コミュニティの活性化につながる可能性がある
  - ・9人
  - ・通学の安全性確保が重要である
  - ・119人
  - ・保護者の意見を十分に反映させるべきである
  - ・23人

### ■1学年のクラス数【小学校】

- [2～3クラス 197人]**
- ・クラス替えが行え、人間関係や環境を変えることができる
  - ・こどもの進路や活動の中で学べる機会になると思う
  - ・学習は大切であるが集団生活でのルールから色々な力をつけることができる年齢であると思うので、2-3クラスが良いと思う
  - ・多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が保てる
  - ・様々な活動や社会性を身につけるために、複数の学級数があった方がよいと思う
- [その他 22人]**
- ・1学年の学級数よりクラスの人数の方が大事ではないか
  - ・地域の規模や人口によっても変わると思うので、一律に基準を重視しなくてもよいと思う

### ■1学年のクラス数【中学校】

- [4～6クラス 195名]**
- ・切磋琢磨して勉強にも励めると思うし、各行事も楽しいものができると思う
  - ・多様な関わり方ができ、人間関係も豊かに構築できると思う
  - ・学級数が多いと1人の職員への負担が大きくなり、これ以上は生徒の様子を丁寧に見られないと思う
  - ・クラス替えの楽しみ、クラス対抗のスポーツや文化発表会の楽しさを感じる機会が減ることを防ぎたいから
  - ・先生が自由に目を配らせる事ができる範囲で、集団の中で多様な考え方に触れ他者を認め、協力したり切磋琢磨し合うことで社会性を学べる
- [その他 24人]**
- ・以前は部活動の選択が少なくなるなどの心配な面もあったが、地域クラブに移行することでクラス数は小学校と同じくらいになるのではないかと
  - ・性格、学力、人間関係を担任が把握できやすく、負担にならない程度の人数的配置が好ましい

### ■通学距離【小学校】

- [4km以内 121人]**
- ・速さごと熱中症や事故、事件が起きないか心配
  - ・徒歩での通学であれば4km以内だと通学出来ると思う。ただ、猛暑やゲリラ豪雨への対応など通学時の課題はある
- [その他 98人]**
- ・0.2km以内
  - ・重たいランドセルを持って、暑い日・寒い日・雨の日と歩くだけで疲れてしまうので距離は近い方がいい
  - ・区域外通学の申請ができる基準だから

### ■通学距離【中学校】

- [6km以内 166名]**
- ・自転車通学ができるなら妥当な距離
  - ・体力や通学手段の多様性を考え小学校よりは徒歩が伸びていくと思う
- [その他 53人]**
- ・自転車通学なら4km以内でも可能だと思うが、これ以上の距離になると不審者や通学中の事故など不安要素が多くなる
  - ・事故後の帰宅時間や帰宅が暗いのであまり遠くない距離が望ましい

### ■通学時間【小学校】

- [60分以内 85人]**
- ・60分以上だと重たい荷物による肩や腰への負担も心配だし、熱中症なども心配なため
- [その他 134人]**
- ・安全面(暑さによる健康被害や交通事故、不審者など)を考慮して通学時間は短い方がいい
  - ・登下校が歩く事は体力づくりにつながるが、友達とのコミュニケーションを学ぶ事ができる

### ■通学時間【中学校】

- [60分以内 116名]**
- ・徒歩、自転車などを本人が決めるのなら、子どもでも良い
  - ・これ以上は体力が消耗して勉強にも身が入らなかつたり、熱中症や通学途中の事故や不審者などの危険が伴うのではないかと
- [その他 103人]**
- ・30分以内
  - ・部活動の地域移行に伴い、スポーツクラブや塾などで活動する生徒が多くなると思うので、通学時間がより短い方がいいと思う
  - ・学校生活への影響や熱中症等が心配

### ■交通機関の利用検討

- 【小学校】**
- [30分以上 192人]
  - [その他 27人]
  - ・40分以上かかる場合は、季節等を考慮してスクールバスの必要性があると思う
- 【中学校】**
- [30分以上 188人]
  - [その他 31人]
  - ・体力が上がるので、その子に合った通学方法が可能な方がいいと思う
  - ・60分以上かかる場合と季節に応じてスクールバスの必要性を感じる

### ■生徒の自転車通学の可否

【可能とするべき 134人】

【可能とするべきではない 85人】

### ■他機能と複合化する場合、望ましいと思う施設(3つ)

- ・地域交流センター等の市民文化施設 55票
- ・こども園や子育て支援センター等の子育て支援施設 149票
- ・地域包括支援センターや保健センター等の保健福祉・医療施設 85票
- ・保護者や地域住民が自由に使えるスペース 31票
- ・スーパーやコンビニ等の商業施設 5票
- ・他機能との複合化は望ましくない 31票
- ・その他 4票
- ・病院、老人施設 など

### ■地域コミュニティと連携

- するためにできること(複数)**
- ・学校説明会や見学会への協力 80票
  - ・入学前の交流機会(こども園、保護者同士の提供) 135票
  - ・こどもの発達段階に応じた情報提供 141票
  - ・地域住民との交流イベントへの参加・企画 51票
  - ・PTA活動への協力 7票
  - ・学友との連携 41票
  - ・こどもの通学に関する専門的な視点からの助言 68票
  - ・その他 1票

### ■こ小中一貫教育の形態

- 【施設一併型 31人】**
- ・同じ敷地内、建物も一緒であることで、こどもだけでなく保育教諭・教師も連携しやすい
  - ・ある程度地域が一緒の方がこどももやりやすいと思う
  - ・乳児、幼児からの学びが、小・中にも繋がっている
  - ・40分以内の体制にしてお互いに交流することや、あふれる機会が増えたらいいと思う
  - ・内容や連携を維持していくためには一併型の方が連携しやすいと思う
  - ・異年齢児がいることで輪が広がってコミュニケーションを取れる環境がスムーズに出来る

### 【施設併設型 106人】

- ・ここのギャップが無いように(こ小中)交流する機会が増えるといい
- ・それぞれの学校や園で校庭庭園の使い方も別にあることに利点があると感じるため
- ・こども園の主体的な学びを大事にしている保育を見ていたことで、こどもが自ら学んでいる姿を小学校に何となく頼りてほしいと思った
- ・お互いを知る機会も増え、就学の不安も和らぐと思う
- ・交流がしやすい職員も連携がしやすいと思う
- ・交流を深めるには近い方がいいし、運動会、音楽会などに一緒に参加出来ること行事の様子が見れて嬉しく感じる
- ・こども園から中学校まで近くにあることで、こども園と職員同士の交流がしやすく、それぞれの学びが深まりやすいと思う
- ・こども園は保育の場もあり、就学の幼児とはまた違うので現状維持が良いと思う

### 【施設併設型 77人】

- ・1日の流れや過ごし方が違うかと思うので、一併型でなく距離が少しある方がいいと思う
- ・こども園が身近に次の就学段階を感じられる距離が良いと思う
- ・徒歩で行きやすい距離なら交流などで互いを知り合える機会が持たせやすくなると思う
- ・交流しやす、園外や校外に出る際に安全に気をつける勉強でもありと思う
- ・災害時の二次避難場所として小学校が近くにあっていい
- ・小学校、中学校は、あくまで学習することで、保育とは少し違うと思う
- ・通学路の確保、危険箇所なども園の時に親と連携する中で話し合える機会がある

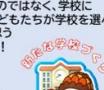
### 【その他 5人】

- ・近くなくても良い
- ・時間により選択できると良い

### ■新たな学校づくりへの意見

- ・小学校1年生だけでもクラスの人数が少なくして、先生の目が届きやすくなる方がいいのではないか
- ・こどもたちがのびのびと育つための環境を保育者や教育者への待遇面やフォローなどを対応してほしい
- ・親の働き方などや変わってきている環境に対応し、日本の活用や希望者によるスクールバスの導入などを検討してほしい
- ・探求学習を増やすこと、こども達が行きたいと思う学校になればいい
- ・架け橋プログラムについても、同時進行的に進めていく必要があるのではないか
- ・学校は学習以外でも先生やたかさんの友達と様々な経験をすることで、自分らしさを発見し自分の良さや好きなことに気づいていく場であってほしいと思う
- ・部活動の地域移行に伴い、地域と学校が連携したこどもの居場所をみんなで作ってほしい
- ・実際に通っている児童や保護者の意見を重視してほしい
- ・支援が必要な子どもの親が相談しやすい環境を整えてほしい
- ・児童生徒、先生、保護者の配慮ももちろんだが、働く学校関係者の思いや意見も反映してほしい
- ・通学距離がある児童生徒への配慮を望む(自転車バス等)
- ・こどもの数や面積、距離が(バラバラなので、一律に考えるのはではなく、地域ごとにベストな家庭を考えた方がいい)
- ・家庭と児童発達支援施設とこども園、学校の連携がより必要になってくると思う
- ・不登校のこどもたちの居場所づくりも、学校だけでなく、こども園を含む地域での取り組みが必要になってくると思う
- ・保護者の負担や不安が少しでも軽減されるよう努力してほしいと思う
- ・地域全体で見守るような環境作りができればいい
- ・小中一貫など私立のようなシステムがあれば学びももっと深くなると思う
- ・こども達に選んでもらう、たくさんの人と関わって楽しむことができればいいと思う
- ・決められた学校に行くのではなく、学校によって特色を持たせ、こどもたちが学校を避ける様にならないという思い
- ・何でもを主題に!!!

219名が回答



(発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp

# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【市民ワークショップ】まとめ

第1回2025年9月20日  
第2回2025年9月28日

### 1. 適正規模適正配置、少人数教育

- 【9月20日】
  - 学校とは何か、改めて考える必要がある
  - 何で学校に預けているのか
  - 「学校の定義の明確化と役割」教員の職務負担の軽減
  - 先生、児童の意見を聞いて適正な学校に
  - ①数字だけでなく、しっかりと教職員・児童・生徒に聴く
  - ②教員の負担軽減
  - ③本来の業務に専念できるように何で学校に振らない
  - ④副担任制やチーム担任制の導入
  - ⑤教員の定義(免許、県の採用、市の採用のケースも)
  - ⑥教職員の負担軽減は関係者に委託などで解決の一助になるのではないか
  - ⑦「任している町ではなく、距離で行く学校が決まる可能性はあるのか。その場合、行く学校を選択できるのか
  - ⑧町や距離で校区を分けるのか、選択制にしてはどうか
  - ⑨学区の再編する際、進路制の導入としてはどうか
  - ⑩①少人数教育や教育内容など違う学校を選んでいいのではないか
  - ⑪少人数教育のデメリットは多様な人間に触れる機会を奪う事だと思う
  - ⑫クラス替えができないのは問題
  - ⑬少人数の学級運営で、きめ細かな学びを希望
  - ⑭教職員の負担増の問題は切り離して考えるべき
  - ⑮校区内に小規模校があるか、高砂市の教育のまちを前面に出してはどうか
  - ⑯子どもが20人学校に在籍しているが、それでも自分が行き届いているか
  - ⑰正直実感がない(先生は頑張ってる下で下っている)、少人数にするだけではきめ細い指導ができないのではないか
  - ⑱計画はどれくらい先を見越しているのか
  - ⑲何年後を見越して、何年間の見直し期間を考えるのか
  - ⑳適正規模適正配置が基本となる
  - ㉑子どもと先生が過密に感じさせる規模感
  - ㉒教育現場を協議して、教員づくりや共通事務をネット化サポートして負担の軽減化
  - ㉓高砂市地域道路の建設が影響する
  - ㉔高砂市地域道路も考えない
  - ㉕分散学校はお別れが多くて(伊保地区)、子どもが可哀そう
  - ㉖再編で地区を越えるのは大変
  - ㉗義務教育学校にする中で中1ギャップの解消につながるようにバスは使えるのか
  - ㉘①どのバスに乗って行くのか
  - ㉙既存の枠組みを外して欲しい
  - ㉚既存の枠組み(連合自治会、小中学校)の枠を外し、単位自治会をモジュールにして、1-9年の義務教育学校を再編成
  - ㉛国の出した基準はどういう条件で算出したのか知りたい
  - ㉜1クラス何人までなのか出てくる人数が知りたい
  - ㉝国の方針は何を根拠にしているのか

- ・通学距離が長くなると、子どもの安全や体力への影響があるが、どのように考えているのか
- ①伊保の集約の子は以前は松原中だったが、遠いから荒井校区に(元は梅井に)あった。実施に合わせて、町と校区にとられない強力的な考えもできる
- ②旧町村の伝統・文化・神社(祭礼)の氏子、明徳幹線等の大きな道路など色々考えて新たな校区の設定してほしい
- ③市の端にあって、人口が少ないと統合になるのではという不安はある。高砂町から荒井中は遠い
- ④適正規模適正配置は財政効率・行政効率だけでなく、教育効果・教育機会の検討が必要としたが、審議会ではどう検討されたのか
- ⑤開発された場所、区画は考慮されているのか
- ⑥伊保で義務教育学校を作るとまとめる
- ⑦学級担任制も変えていいのではないかと
- ⑧①子どものコミュニティを広げること、いろいろな人と知り、知ること刺激をもらえ、もっと知りたいという探究心につながる
- ⑨高砂市地域道路が高砂小中学校の上を通ることで、適正規模適正配置が図られているのではないかと
- ⑩3人学級だが、市として色々工夫しているのでは
- ⑪伊保小中学校の分散学級で課題
- ⑫旧町村に拘らず、様々なケースを考えてもいい
- ⑬元組合立の学校の場所の検討
- ⑭学校が先で、高砂市が後にできた
- ⑮人口減少も教師が少ないのも政治の責任だと思うので、国や県に意見を言ってもいい
- ⑯他市の再編状況はどうなのか
- ⑰地域コミュニティとして小規模校の必要性は一定理解できるが、この議論を続ける前に進まないから、一定の基準で進める必要あり
- ⑱地域づくり、コミュニティとの関係と強力的な意見の両方を中学生たちの考えなども聞いてみるという
- ⑲極端に人数が減って行くわけではないので、スクールバスの運行は難しいのではないかと
- ⑳児童保育も大変なので対応を
- ㉑子どもたちはしっかりと挨拶ができている、先生がちゃんと指導している
- ㉒学校を減らすのもどうなのか
- ㉓熱中症などもあるので通学距離が心配
- ㉔中庭などもある中で、車が近くで通学距離は危険では
- ㉕学校教育としてどうするか
- ㉖地域コミュニティはどうなのか
- ㉗子どもたちが伸び伸びと育っているのを、そういった学校の状況を維持してもらいたい
- ①1学年で1クラスが増えているのはどうなのか
- ②小中一貫型にする事で学校数を減らし、極力廃校数は減らしてほしい
- ③高砂小中がなくなると、高砂町がなくなってしまうと思う
- ④一定の地域で検討している市町がある
- ⑤先生が「魅力ある先生」になりたいと思う仕組みがあれば、少人数教育にもつながるのではないか
- ⑥国や県に言われてやっているように見せる人がいる
- ⑦結果ありきで進めるように見えてしまう

### 2. 個別最適・協働的な学び、探究的な学びへの対応

- 【9月20日】
  - ①片付めで勉強強くて、書道や美術で使った筆、硯、ハルツは学校で洗わせていただきたい
  - ②荷物が多いのタラシだけ持ち運ぶ
  - ③宿題もデジタルでして成果が実感できる
  - ④夏休みの宿題が多すぎる
  - ⑤(7:50)登校、8:15開校、8:40授業 登校早くないか
  - ⑥夏休みの宿題が多すぎる(せっかく色々な体験ができるのに...)
  - ⑦登校時間早すぎます(小学校)
  - ⑧教育のまち高砂らしい特色ある教育を進めたい
  - ⑨オープンスクールなども事前授業の様子を聞くだけでは、どういふ学び方をしているかわかりづらいので、問題点や改善点をあわせて
  - ⑩①多様な学びを学校でしてほしい
  - ⑪学習支援も必要と多いと思うので、復習だけの時間必要ではないだろうか
  - ⑫公教育をより充実させることで、子どもの学びの格差も小さくできるのではないかと思う。「学習支援」おいていいかな
  - ⑬教育にも必要ではないか
  - ⑭自分の興味のある学びを選択したいと思う(大学のような授業を体験できたら)
  - ⑮自分の得意を伸ばせるスペースは大賛成ですが、得意を見つけてない子どもへの配慮として、ほっとかへ学習や職員体制が必要だ
  - ⑯学校の再定義が必要。何をするとするか
  - ⑰意見交換がされているのか
  - ⑱教師のICT研修、学びの時間が確保できているのか
  - ⑲①ICTの使い方を広げて
  - ⑳教育研究所・教育の設置(市長部局で)、教育メニューを推進してはどうか

- 【9月28日】
  - ①前日で発表することが苦手な子ども、文字、文章で意見が伝えられる環境(ICT化)
  - ②ICT教育など教育が儲ける種になっていないか
  - ③ICTの根拠(技能の初歩、モラル)を小中からやっておけたら良かったと思う
  - ④「ドリルソフトを活用して、教員は生徒の状況を把握するためにどのような工夫をしているか、基礎の定着に効果を感じられるか
  - ⑤ICT化は良いと思うが、今は授業準備+パソコンなので、持っていくのが大変で、早くうちからしてほしい
  - ⑥ICT教育は将来に活かせるけど(プログラミングとか)、親への連絡とか「勉強している感」は紙が良い
  - ⑦企業が絡んでくると子どもの情報が利用されないか、先生の負担が増えるか
  - ⑧ICT教育は良いところもあるけど抜けていけないところもあるのではないか
  - ⑨小中への関心もタブレットの使い方が情報の教育を行い、実践する機会があれば良い
  - ⑩むしろそうやって頼りたけでもっと話したいので、先生の労働環境を改善してほしい
  - ⑪小中に関わりたがる学びも大切だと思う
  - ⑫「確信」「思い」のある学び
  - ⑬子どもたちにとっても自分を表現させていくのが考えるのも大事 → 少人数が良かったらいい
  - ⑭①子ども自身が自分で決めてチャレンジできる場、興味を伸ばしてあげたい
  - ⑮先生の業務がだんだん増えて大変そうなので、教育の改善も大事だが、教師の仕事内容の改善とか負担を減らしてほしい
  - ⑯未来のある子どもの教育してくれる先生方が安心して働ける環境を整え、教員増加施策を考えた方がいい
  - ⑰教員担任制を小学校に活用することも必要ではないか
  - ⑱チーム担任制
  - ⑲ICT教育で抜け落ちていることはないか
  - ⑳各学校にあるサポートルームをより部屋増やして、地域の活動場所にするれば、こどもの気分転換や人との触れ合いの場にもなるのではないか
  - ㉑自習ができるスペースがほしい(遠くまで利用可能)
  - ㉒高砂市は地域間の開け方を大切にしたい
  - ㉓ICT化だけでなく、自分で調べる力や疑問に思うこと止めて欲しい、体験すること大切
  - ㉔先生の負担を減らし、授業だけでなくこどもと関わる機会を増やす
  - ㉕こどもの活力を生かすために、授業を選択して興味のあることを学べるような場を設けるべき
  - ㉖一人ひとりの、こどもが得意なことを活かして、学校に行きたくない
  - ㉗小中もこども園を見習って、体験する機会を増やしていきたい

※○内の数字は参加者が大事だと思ったことへの投票数



# みんなで考える高砂市の新たな学校づくり

## ～これからの学校のあり方を考えよう！～【市民ワークショップ】まとめ

第1回2025年9月20日  
第2回2025年9月28日

### 3. 安全・安心、快適に過ごすことができる施設

- 【9月20日】
  - ①生活でなくすくなくらいにしたい!!
  - ②土日に子どもだけの居場所があればいい
  - ③土日に子どもだけが集える場所を各学区に設置していただきたい
  - ④今後の改修等のスケジュールはどうか
  - ⑤2階校舎をつつてほしい(いじめの予防や何かあったとき用)が、プライバシーの配慮は必要
  - ⑥防犯カメラ フライパン問題 記録簿として
  - ⑦トイレの臭い対策は行かない
  - ⑧アンケート結果は学校の子どもたちの声として、「今」考えてもらえるか、新たな学校が作られてから変わるのか、トイレだけでも改修してあげてほしい
  - ⑨①中学校のトイレが臭くてどうも利用できないと言っている、せめてスリッパを設置してほしい
  - ②トイレをスリッパを履いてほしい
  - ③小学校の特別教室・ICT室を付けて下さい!
  - ④加古川市と高砂市と協力をプールの民間化を考えていくか、高砂市内だと民間のプールは1つかないか、市内全ての学校に対応は不可能ではないか
  - ⑤プールで身を守るための術を身につける必要がある
  - ⑥市民プール跡地に屋内プールを作って、共有で利用してはどうか(一般利用もOK)
  - ⑦温水プールの設置
  - ⑧普段は貸し出すプールを学校が使わせてもらえたらいいのでは
  - ⑨民間委託の費用は個人負担なのか
  - ⑩場所だけでなく、入る人選の確保が大事
  - ⑪2階校舎でも特別な支援が必要な子がいるので、その子への対応は何かないか
  - ⑫支援学級の中でも色々な子がいるが、先生が足りない
  - ⑬支援学級の中でも個性のつづかない子がいる
  - ⑭公立の学校でどこまで対応しきれないのか
  - ⑮子どもが支援学級に在籍している親の立場として、対応して頂きたいと思う反面、こどもがお断りしてもいいのか、先生の負担になるのではないかという点も懸念している。それを毎日先生と話を重ねていく必要がある。それに対する精神的なプレッシャーはものすごく、先生側も同じだと思うので、どこをどうすればいいかわからないか、もう少し楽になればと思う
  - ⑯①安心を図る場やスペースが増えること、こどもに日々関わる職員やスキルも重要になってくる
  - ②学校という場がダメな子もいるのではないかと
  - ③高砂市の民間のフリースクールもある。そのことを連携も必要ではないか
  - ④①自分の子どもが学校の環境にあわず登校しないようだが、勉強する気はあるので、オンライン授業を数コマだけでも受けられないか
  - ⑤勉強が好きだけども学校に行けない子はオンライン授業を受けられないか
  - ⑥サポートルームと普通教室の間の居場所はないか
  - ⑦ハード面だけでなくソフト面も考えてほしい
  - ⑧先生のスキル向上が必要(先生の負担軽減)

- 【9月28日】
  - ①学校が地域・社会に開かれた場になってほしい
  - ②見える化で安心だし、職員の質の向上にもつながる
  - ③校舎内の防犯カメラの設置はどうか(トイレの出入り口、廊下など、教室は難しい)
  - ④プールの設置場所を検討する必要があるのではないか
  - ⑤民間スミミング、クラブは高砂市には1つ
  - ⑥新しい建物を作らないと新しい教育はできないのか
  - ⑦老朽化からと壊れて新しい物をつくるのではなく、保全・新しい安全な建物に造り直し再使用する
  - ⑧学校施設の老朽化の整備は早急にしてほしい
  - ⑨トイレ対策はお金がかかるので、別に風呂場をのれんを作れないか
  - ⑩災害の時に小学校は避難所になるので、センター方式は不安。自校で調理ができる方が良いのではないか
  - ⑪施設だけでなく、全ての事で課題の多いか(規模・複合化など)
  - ⑫こどもたちのリクエストしていることを最優先にしない
  - ⑬①生理用品を小中学校にも置いてほしい
  - ②熱中症予防のために下校時はバスを出している自治体もある
  - ③老朽化は進んでいる感じ
  - ④支援学級が併設できないか
  - ⑤交流してその子に合う環境を
  - ⑥小中で特別支援学級に在籍していた子どもたちを高校で受け支えてほしい
  - ⑦高校では出席日数や成績により進級に苦労している生徒がいる
  - ⑧①特別支援学級のトイレ・シャワーは必要に応じて付けてあげてほしい(以前あった宿舎を活用してもいいのでは)
  - ⑨教室不足の問題を校区再編で解決できないか
  - ⑩高砂市にはスミミングスクールは1つかないから、市内にプールをつくるしかないか
  - ⑪「サポートルーム」にこどもの自由度がないのではないか
  - ⑫学童のスペースも考えて施設をつくること良い

### 4. 地域とともにある学校の推進

- 【9月20日】
  - ①高校からではなく、小中の時から自分の学びたいことを学んでほしい
  - ②「好き」を見つけて伸ばしてあげたい
  - ③指導員の費用はどうするのか
  - ④こどもから大人までつながれる場
  - ⑤こどもを通して地域を1つに
  - ⑥通学距離の対応をどうするか
  - ⑦活動場所の確保が大事
  - ⑧部活の地域展開は全一斉なのか
  - ⑨人材が多ければいい
  - ⑩人材の確保はできるのか
  - ⑪個人練習と全体練習で日にちを分ける
  - ⑫購入した備品をどうするか
  - ⑬移動の安全面に不安がある
  - ⑭団体だけでなく個人の指導員も募集してはどうか
  - ⑮高砂町では年間を通して、こどもの興味に沿った学び(生花など)を実施している
  - ⑯「小学校の時から高齢者大学と連携して、地域クラブの展開をしたらどうか
  - ⑰地域を覗いてほしい人材(協力したい人)を公募してはどうか
  - ⑱部活動の地域展開がどうなるかわからないので、部活の使い方をについて困っている(新しく購入したいものとか...)
  - ⑲①学校間で連携があれば余っている備品の貸し借りができるのではないか
  - ②バスをもっと増やして活用
  - ③学校は防災の場所としても活用している、全部建替えはダメではないか
  - ④安全面より交流してほしい
  - ⑤市内全校で複合化するのか、その来場者の駐車場は確保できないか
  - ⑥学校運営協議会の会議にAIを活用してはどうか
  - ⑦他市の学校運営協議会の状況を知りたい
  - ⑧「いま」の意見を大事にしてほしい
  - ⑨小中の連携ができてほしい

- 【9月28日】
  - ①活動指導の人数はどのように確保するのか
  - ②公式戦(県・全国大会)に出場する際の扱いはどうなるのか
  - ③活動の心配などの子も今までのように参加できるのか
  - ④土日も仕事(部活)と先生の負担が大きくて、指導が増えるという、休みもなくなるので、外部コーチを導入するのも良いと思う
  - ⑤命を守る事なので、防災の事は各地域でしっかり伝えてほしい
  - ⑥学校のせいで老人ホームやカフェを併設してはどうか
  - ⑦専業主婦として暮らす
  - ⑧学校、図書館、フリースペース等が全体で考えたい
  - ⑨複合化は文化施設等との具体的な方向性はあるのか
  - ⑩文化会館の跡地に市民図書館と移転との話があるが、サポートルームの跡地活用はどうか
  - ⑪①学校運営協議会において、地域・学校がそれぞれの立場で「こども」を中心に考えるのが大事
  - ②地域が学校にどうやって役に立っているのか、負担感を感じないか気になる
  - ③学校が地域の方にお世直しになるばかりではなく、win-winな取組、持続可能な取組みをしていければと思う
  - ④登下校中に災害に遭うこともあるので、学校での避難訓練を地域の方と一緒に、防災について考えてほしい
  - ⑤クラス替えは必要だと思う。地域でしっかり話をして考え、数合せ理論で決めてほしい
  - ⑥①学校運営委員会はほとんどの世代の幅のあるメンバーを集めるべきではないか。昔の話をする世代ばかり集まっているのは未来の話がない
  - ⑦学校運営委員会に色んな世代のメンバーが入らたらいい(中学生や高校生の参加もありではないか)
  - ⑧地域のつながりがなくなっていると感じる
  - ⑨先生の指導が素晴らしい、こどもも素直でいいさつまようじができて
  - ⑩高砂で育ったことはいずれ帰郷して帰ってほしい
  - ⑪③学校の統合により地域コミュニティが弱体化してしまっている、どのように考えているのか

### アンケート(抜粋)

- 【適正規模適正配置、少人数教育】
  - ①校区再編の際には、通学路の安全面や距離も重要項目として考えてほしい
  - ②個別最適・協働的な学び、探究的な学びへの対応
  - ③大生や高校生、教員OBの方や地域ボランティアで学習支援を継続的に行うことも必要ではないか
  - ④安全・安心、快適に過ごすことができる施設
  - ⑤安全安心は必須だと考えるが、こどもたちに「不便」も教えてほしい
  - ⑥「避難所としての機能を持つ体育館は小学校区域につづつ残し、校舎は個別に検討する必要がある
  - ⑦【地域とともにある学校の推進】
  - ⑧自治会の区域に拘る必要はなく、校区や市内大との接点や関係性は必要
  - ⑨【その他】
  - ⑩計画には必ず失敗の要素がある、PDCAのCを十分に弾力的な計画を推進してほしい
  - ⑪教育職員が夢を描いて、教育の実現ができるような学校の創設を期待する

30名参加 (発行) 高砂市教育委員会教育総務課 電話:079-443-9055 E-mail:tact7410@city.takasago.lg.jp

